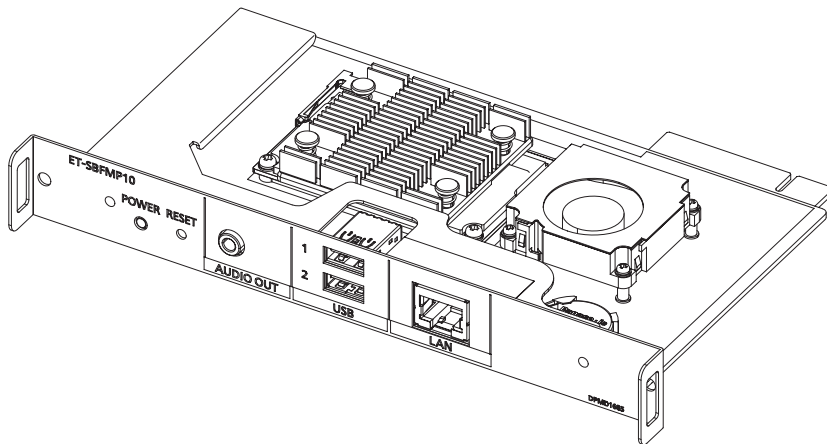



取扱説明書 詳細編

メディアプロセッサボード 業務用

品番 **ET-SBFMP10**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この「取扱説明書」とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意”（ 3 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。



もくじ

安全上のご注意	3	情報表示機能について	18
ご使用になる前に	5	プロジェクターの Web 制御機能について	18
対応プロジェクター	5	Web 制御機能を使用する	19
ファンクションボードの取り扱いについて	5	使用できるコンピューター	19
セキュリティに関するお願い	6	接続例	19
対応するアプリケーションソフトについて	6	設定する	21
廃棄について	6	Web ブラウザーからアクセスする	23
付属品の確認	6	[ステータス] について	25
各部の名称とはたらき	7	[プレーヤー] について	26
電源インジケーターについて	7	[言語 (Language)] について	30
接続例	8	[システム] について	31
ファンクションボードの取り付け / 取り外し方	9	[その他] について	38
ファンクションボードの取り付け、取り外しの		再生機能を使用する	41
前に	9	スケジュール再生を行う	41
ファンクションボードの取り付け方	9	ストリーミング再生を行う	41
ファンクションボードの取り外し方	10	同期再生を行う	42
投写する映像を選択する	11	その他	43
ダイレクトに入力を切り換える	11	故障かな!?	43
入力選択画面を表示して入力を切り換える	11	自己診断表示について	44
オンスクリーンメニューについて	12	仕様	45
[SLOT IN]	12	さくいん	46
[SLOT 設定]	13	保証とアフターサービス	47
[セカンダリー入力]	13	保証書	47
[スタートアップ入力選択]	14	補修用性能部品の保有期間	47
[スケジュール]	14	修理のご依頼について	47
[REMOTE2 端子モード]	16		
[ステータス]	16		
[イーサネットタイプ]	17		




安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。



■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	<p>■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 本製品の近くに水などの液体の入った容器を置かないでください。 ⇒ 水などの液体がかかったときは、販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 付属のねじは、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)</p>

注意

	<p>■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない (火災や感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 異常に温度が高くなる所に置かない (部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ プロジェクター本体への本製品の取り付けや取り外しの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)</p>

■ 商標などについて

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Intel、Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- DisplayPort™ は、米国およびその他の国における Video Electronics Standards Association (VESA®) の商標です。
- NDI は、NewTek, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac と macOS、Safari、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Chrome は Google LLC の商標です。
- Adobe、Acrobat および Adobe Reader は Adobe の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社が独自に開発したソフトウェア
 - (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクト株式会社にライセンスされたソフトウェア
 - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (4) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version3.0 (GPL V3.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (6) GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、各オープンソースソフトウェアのライセンス条件をご参照ください。

オープンソースソフトウェアライセンスは本製品のファームウェアに格納されており、Web ブラウザーを使用して本製品にアクセスすることでダウンロードできます。詳しくは“Web 制御機能を使用する” (👁 19 ページ) をご覧ください。

パナソニック コネクト株式会社は、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 (E メール) : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

■ 本書内のイラストについて

- 本製品やプロジェクター本体、メニュー画面 (OSD) などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- ご使用のコンピューターの機種、OS や Web ブラウザーの種類によって、実際にコンピューターの画面に表示されるものとは異なることがあります。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (👁 00 ページ) のように示しています。



このシンボルマークは、ヨーロッパ連合 (EU) をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

ご使用になる前に

本製品は、パナソニック コネクト株式会社製プロジェクターに取り付けて使用するファンクションボード（以下、「ボード」という）です。

本ボードをプロジェクターに取り付けることで、外付けの機器や複雑な配線を必要とすることなく、ボード上のストレージに保存した静止画 / 動画コンテンツのスケジュール再生や、ネットワークを介したストリーミング再生を行うことができます。

お知らせ

- スケジュール再生、ストリーミング再生について詳しくは、「再生機能を使用する」（[P.41](#) ページ）をご覧ください。
- スケジュール再生に使用するコンテンツの登録やスケジュールの作成には、「Visual Software Suite」を使用します。
- 「Visual Software Suite」を使用することで、幾何学ひずみを補正した映像やエッジレンディングの調整を施した映像を、あらかじめ本ボード上で生成したうえで、プロジェクターへ出力することもできます。なお、この補正・調整済み映像の出力は、本ボードを介して行われるものに限られます。

対応プロジェクター

本ボードは、次のプロジェクターで使用できます。ただし、お使いのプロジェクターのファームウェアバージョンが次に示す適合ファームウェアバージョン未満の場合は、本ボードを正しく使用できません。最新のファームウェアにアップデートしたうえでご使用ください。

(2024年10月時点)

対応プロジェクター	適合ファームウェアバージョン
PT-RQ25K、PT-RQ18K	3.00 以上 *1
PT-RZ24K、PT-RZ17K、PT-RZ14K	3.00 以上 *1
PT-REQ15	2.00 以上
PT-REZ15	2.00 以上
PT-REQ12、PT-REQ10	3.00 以上 *1
PT-REZ12、PT-REZ10、PT-REZ80	2.00 以上 *1
PT-RQ7、PT-RQ6	2.00 以上 *1
PT-RZ6	2.00 以上 *1

*1 2024年11月以降、本ボードに適合するファームウェアを順次公開予定

お知らせ

- 本書では、プロジェクターの製品品番末尾のアルファベット記号を省略しています。
- 表内に記載がないプロジェクターにも対応している場合があります。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」をご確認ください。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」は、次の Web サイトからご確認いただけます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>
- プロジェクターのファームウェアバージョンは、オンスクリーンメニューの [プロジェクターセットアップ] メニュー → [ステータス] で確認できます。
- プロジェクターのファームウェアをアップデートする手順については、ご使用のプロジェクターの「取扱説明書 詳細編」をご確認ください。
- プロジェクターのファームウェアバージョンが本ボードに適合していない場合、本ボードは他社製ファンクションボードとして認識されます。表内に記載されたプロジェクターに本ボードを取り付けて使用する際は、ファームウェアバージョンをご確認ください。

ファンクションボードの取り扱いについて

- ファンクションボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください。
静電気によって部品が破壊されることがあります。事前に周辺の金属に触れるなど身体の帯電を除去したうえで、ファンクションボードを取り扱ってください。

セキュリティに関するお願い

本ボードをご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- ボードを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者によるボードの不正操作
- 悪意の第三者によるボードの動作の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。

対応するアプリケーションソフトについて

本ボードは、次のアプリケーションソフトに対応しています。

- Visual Software Suite
- 複数台監視制御ソフトウェア (Multi Monitoring & Control Software)

「Visual Software Suite」の詳細やダウンロードについては、次の「パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイト」をご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

なお、「パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイト」から詳細を確認したりダウンロードしたりするには、PASS*¹ に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

*¹ 「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイトの名称です。

「複数台監視制御ソフトウェア」の詳細やダウンロードについては、次の Web サイトをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

廃棄について

本ボードを廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。なお、ボードは分解せずに廃棄してください。

付属品の確認

次の付属品が入っていることを確認してください。< > は個数です。

ねじ <2>
(XSB3+8FN)



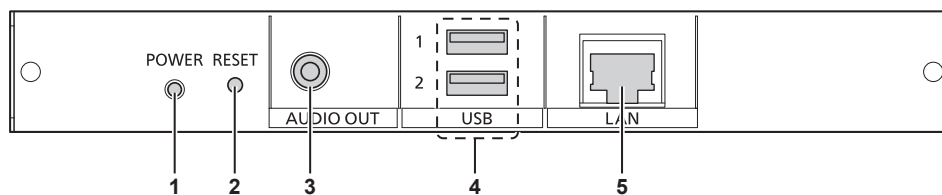
お願い

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属のねじは予備品です。プロジェクター本体のスロットカバーを固定するねじを紛失した際にご使用ください。
- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

各部の名称とはたらき



- | | |
|--|--|
| <p>1 電源インジケータ (POWER)
本ボードの状態を表示します。</p> <p>2 (RESET) ボタン
本ボードのネットワーク設定を初期化するボタンです。
長押しすると、Web 制御画面の [システム] メニュー → [ネットワーク] ページの設定内容が初期化され、ボードが再起動します。</p> | <p>3 (AUDIO OUT) 端子
音声信号を出力する端子です。</p> <p>4 (USB) 端子
本ボードでは使用しません。</p> <p>5 (LAN) 端子
ネットワークに接続する端子です。</p> |
|--|--|

お願い

- 本ボードに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

お知らせ

- ボードの Web 制御画面の [システム] メニュー → [ネットワーク設定] ページの設定内容を初期化すると、ボードのネットワーク接続が切断されます。また、アカウントの設定も初期化されます。ボードの再起動が完了したのちに、改めてネットワークの設定とアカウントの設定を行ってください。なお、ボードの [システム] メニュー → [ネットワーク] ページの設定内容を初期化しても、プロジェクター本体の [ネットワーク] メニューの設定は初期化されません。プロジェクター本体のネットワーク接続は維持されます。

電源インジケータについて

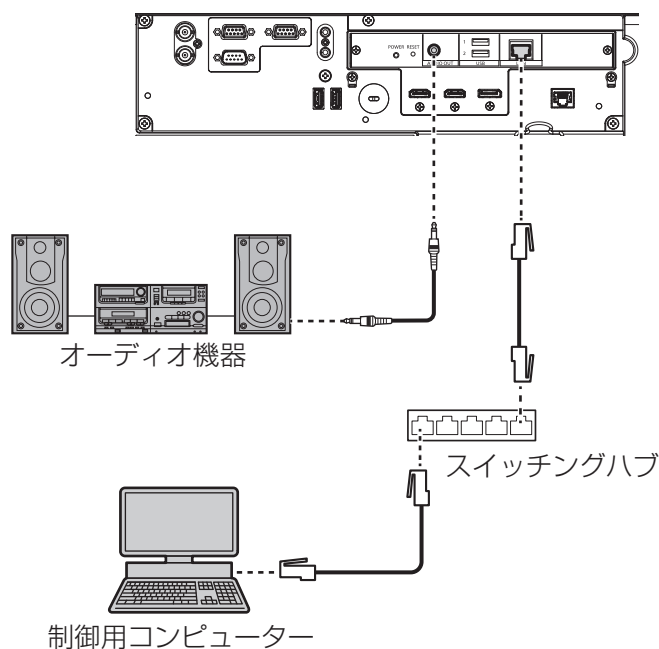
電源インジケータ (POWER) で本ボードの状態を確認できます。

点灯状況		ボードの状態
消灯		プロジェクターからボードに電源が供給されていません。
緑色	点灯	動作中です。
	点滅	ボードの設定を初期化しています。または、ファームウェアをアップデートしています。初期化またはアップデート完了後、ボードは自動的に再起動します。
オレンジ色	点灯	起動中です。 しばらくすると、動作中 (緑色点灯) になります。
赤色	点灯	警告が発生しています。
	点滅	エラーが発生しています。

お知らせ

- 本ボードは、プロジェクターからの電源供給が開始されてから OS の起動を行います。OS の起動が完了してボードが動作中の状態になるまでの約 1 分間、電源インジケータ (POWER) はオレンジ色の点灯状態となります。
- [エラー / 警告] の記号の内容とその対処方法については、「自己診断表示について」 (☞ 44 ページ) をご覧ください。
- Web 制御画面の [システム] メニュー → [詳細] ページ (☞ 37 ページ) の [モード] と [通知] の設定によっては、電源インジケータ (POWER) が点灯・点滅しません。

接続例



お願い

- 本ボードおよびプロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。
- プロジェクターやコンピューターなどの外部機器に接続する際、それぞれの機器に付属の電源コードと、シールドされた市販のケーブルを使用してください。

お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはストレートまたはクロス結線、CAT5e 以上の規格に適合したものをご使用ください。システムの構成によってストレート/クロスの内いずれか、または両方のケーブルを使用可能かが異なりますので、ネットワーク管理者にご確認ください。本ボードについては、ケーブルの種類（ストレート/クロス）を自動的に判別します。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。
- 〈AUDIO OUT〉端子からは、本ボードを使用してスケジュール再生されるコンテンツの音声信号、およびストリーミング再生されるコンテンツの音声信号のみが出力されます。プロジェクターに標準搭載の HDMI 端子や DisplayPort 端子、DIGITAL LINK 端子に入力した音声信号は出力されません。
- 「Visual Software Suite」を使用して本ボードのコンテンツ管理や、本ボードの出力映像の設置調整を行う場合は、本ボードの〈LAN〉端子をネットワークに接続してください。
- 本ボードの〈LAN〉端子を使用して、ボード上のハブを介してプロジェクターのネットワーク機能にアクセスすることもできます。
- プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子を使用してイーサネット信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [LAN] または [LAN & DIGITAL LINK] に設定してください。
- プロジェクター標準搭載の〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を使用してイーサネット・シリアル制御信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [DIGITAL LINK] または [LAN & DIGITAL LINK] に設定してください。
- 本ボードの〈LAN〉端子を使用してイーサネット信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [LAN [SLOT]] に設定してください。
- [イーサネットタイプ] を [LAN & DIGITAL LINK] に設定すると、プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子がプロジェクターの内部で接続された状態になります。プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を直接 LAN ケーブルで接続しないでください。また、ハブやツイストペアケーブル伝送器などの周辺機器を介して同じネットワークに接続しないようにシステムを構成してください。

ファンクションボードの取り付け / 取り外し方

プロジェクター本体へのファンクションボードの取り付けや取り外しは、専門の技術者に依頼することをお勧めします。静電気などにより故障が発生することがあります。販売店にご相談ください。

ファンクションボードの取り付け、取り外しの前に

- ファンクションボードの取り付け、取り外しの作業を行う前に、必ずプロジェクターの電源を切ってください。プロジェクターの電源を切るときは、ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」に記載の手順を必ずお守りください。
- ファンクションボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください。静電気によって部品が破壊されることがあります。
- 静電気破壊を防ぐため、事前に周辺の金属に触れるなど身体から静電気を除去してください。
- ファンクションボードの取り付け、取り外しの際は、けがをしないようご注意ください。プロジェクターの空きスロットの開口部や、ファンクションボードのブラケット端部などで、誤って手などをけがすることがあります。
- ファンクションボードをスロットに取り付けるときは、まっすぐにゆっくりと、コネクターに確実に差し込んでください。正しく取り付けられていないと、ボードが動作しなかったり、故障の原因になったりすることがあります。
- 手順内のイラストは、PT-REQ15 にファンクションボードを取り付ける場合を例としています。

ファンクションボードの取り付け方

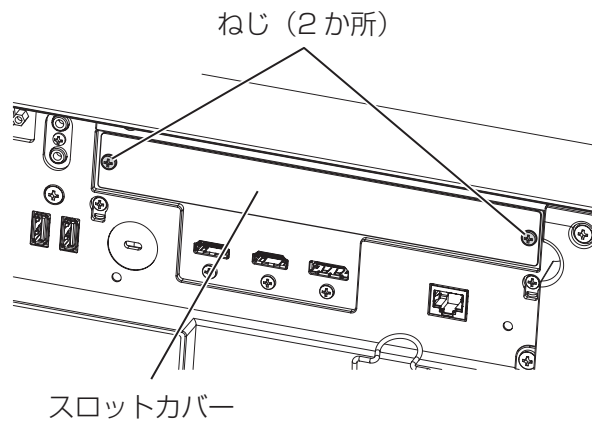


図 1

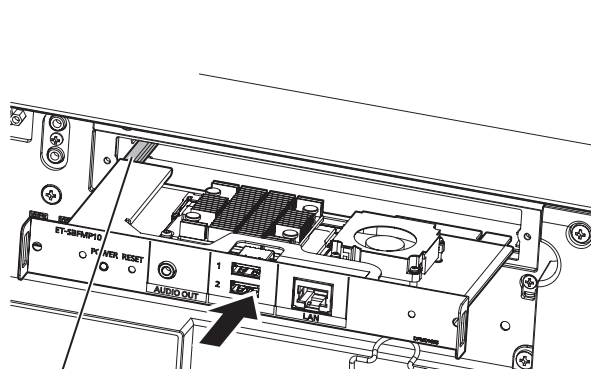


図 2

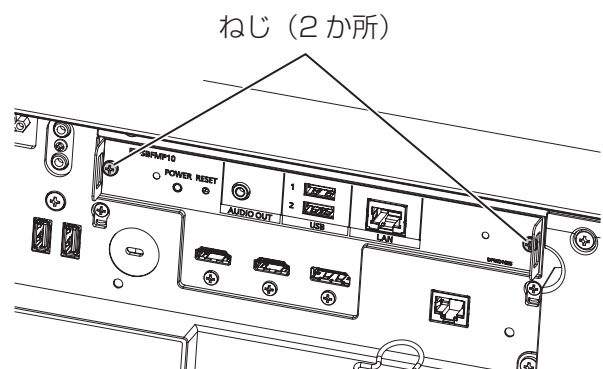


図 3

1) スロットカバーを取り外す (図 1)

- プロジェクターのスロットカバーを固定しているねじ (2本) を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、ファンクションボードの固定に使用します。
- 2本目のねじを取り外す際は、スロットカバーが落下しないよう手を添えてください。
- 別のファンクションボードから交換する場合は、“ファンクションボードの取り外し方” (10 ページ) の手順に従ってファンクションボードを取り外してください。

2) ファンクションボードをプロジェクターに取り付ける (図 2)

- スロット内の左右にあるガイドレールの溝に沿ってファンクションボード差し込んでください。ブラケット部を押しして最後までしっかりと押し込んでください。

3) ファンクションボードを固定する (図 3)

- 手順 1) で取り外したねじ (2 本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 取り外したスロットカバーは、不要になったファンクションボードを取り外したときに必要になります。将来また取り付けられるように保管しておいてください。

ファンクションボードの取り外し方

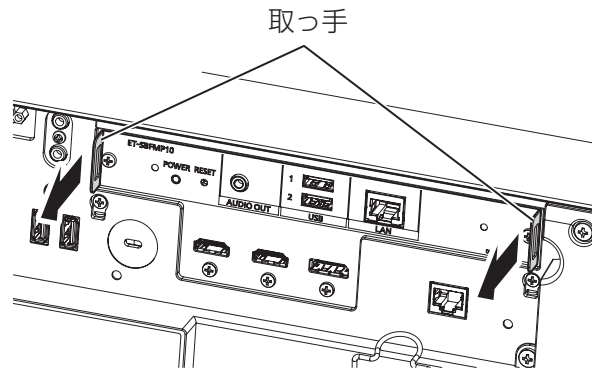


図 1

1) ファンクションボードを取り外す (図 1)

- ファンクションボードを固定しているねじ (2 本) を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、スロットカバーの固定に使用します。
- ファンクションボードの取っ手を持ってゆっくり取り出してください。

2) スロットカバーを取り付ける

- 保管していたスロットカバーを空きスロットに取り付け、手順 1) で取り外したねじ (2 本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 空きスロットには、必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 取り外したファンクションボードは、静電気防止袋に入れて保管してください。

投写する映像を選択する

投写する映像の入力を切り換える方法は次のとおりです。

- プロジェクターのリモコンまたは本体操作部の入力切換ボタンを押して、投写する映像を直接指定する。
- 入力選択画面を表示して、投写する映像の入力を一覧から選択する。

ダイレクトに入力を切り換える

入力を直接指定して、投写する映像を切り換えます。

1) プロジェクターのリモコンまたは本体操作部の〈SLOT 1〉ボタン、〈SLOT〉ボタンを押す

- 本ボードからの出力映像に切り換わります。

お知らせ

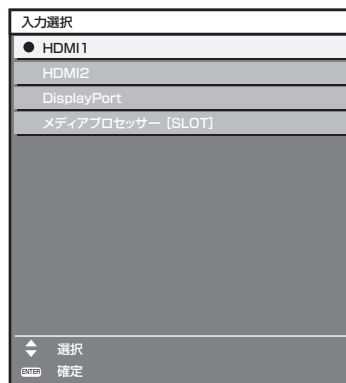
- ボードから出力する再生映像（スケジュール再生／ストリーミング再生）の切り換えは、本ボードの Web 制御画面の [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ (👁️ 26 ページ) で設定します。

入力選択画面を表示して入力を切り換える

入力選択画面を表示して、投写する映像の入力を選択します。

1) プロジェクターのリモコンまたは本体操作部の〈INPUT MENU〉ボタンを押す

- 入力選択画面が表示されます。
次の入力選択画面は、PT-REQ15 のスロットに本ボードを取り付けている場合の例です。



2) 再度〈INPUT MENU〉ボタンを押す

- 〈INPUT MENU〉ボタンを押すごとに、入力が切り換わります。
- [メディアプロセッサー [SLOT]] を選択すると、本ボードからの出力映像に切り換わります。

お知らせ

- 入力選択画面を表示中に、▲▼ボタンで投写する映像の入力を選択して〈ENTER〉ボタンを押すことでも、入力の切り換えができます。
- ボードから出力する再生映像（スケジュール再生／ストリーミング再生）の切り換えは、ボードの Web 制御画面の [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ (👁️ 26 ページ) で設定します。
- 取り付けているファンクションボードによって入力の表示が異なります。本ボード以外の場合については、ご使用のプロジェクトの「取扱説明書」をご確認ください。

オンスクリーンメニューについて

プロジェクターのスロットに本ボードを取り付けることによって操作できるオンスクリーンメニュー（メニュー画面）について説明します。

次の表に✓がある項目が、対応プロジェクターに対する追加説明となります。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書 詳細編」と合わせてご覧ください。

オンスクリーンメニュー		PT-RQ25K PT-RQ18K PT-RZ24K PT-RZ17K PT-RZ14K	PT-REQ15 PT-REQ12 PT-REQ10	PT-REZ15 PT-REZ12 PT-REZ10 PT-REZ80	PT-RQ7 PT-RQ6 PT-RZ6
メインメニュー項目	詳細メニュー項目				
[表示オプション]	[SLOT IN]	✓	✓	✓	✓
[プロジェクターセットアップ]	[SLOT 設定]	✓	✓	✓	✓
	[セカンダリー入力]	✓	✓	✓	✓
	[スタートアップ入力選択]	✓	✓	✓	✓
	[スケジュール]	✓	✓	✓	✓
	[REMOTE2 端子モード]	✓	✓	✓	—
	[ステータス]	✓	✓	✓	✓
[ネットワーク]	[イーサネットタイプ]	✓	✓	✓	✓

お知らせ

- 本書では、本ボードを取り付けた場合の操作に絞り込んで説明しています。

[SLOT IN]

スロットに本ボードを取り付けている場合、[信号レベル] を設定できます。

1) メインメニューから [表示オプション] を選択する

2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- [表示オプション] 画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで [SLOT IN] を選択する

4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- [SLOT IN] 画面が表示されます。

5) ◀▶ボタンで [信号レベル] を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オート]	信号レベルを自動的に設定します。
[64-940]	[64-940] に固定します。
[0-1023]	[0-1023] に固定します。

[SLOT 設定]

スロットへの電源供給について設定します。

[SLOT スタンバイ]

- 1) メインメニューから [プロジェクターセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [SLOT 設定] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [SLOT 設定] 画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで [SLOT スタンバイ] を選択する
- 6) ◀▶ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[有効]	プロジェクターがスタンバイ状態でも、ボードに対して電源を供給します。
[無効]	プロジェクターがスタンバイ状態になると、ボードに対する電源供給を停止します。

お知らせ

- 本ボードを取り付けている場合、[SLOT 電源オン] と [SLOT 強制終了] は [無効] に固定されます。

[セカンダリー入力]

投写中の映像の入力信号が途切れたときに、指定した入力に自動的に切り換えるセカンダリー入力切替機能の設定をします。

- 1) メインメニューから [プロジェクターセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [無信号設定] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [無信号設定] 画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで [セカンダリー入力] を選択する
- 6) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セカンダリー入力] 画面が表示されます。
- 7) ▲▼ボタンで切替先に指定する入力を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

[メディアプロセッサー [SLOT]]	セカンダリー入力を「メディアプロセッサー」に設定します。
------------------------	------------------------------

【スタートアップ入力選択】

電源を入れて投写を開始する際の入力を設定します。

- 1) メインメニューから【プロジェクターセットアップ】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【プロジェクターセットアップ】画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで【スタートアップ入力選択】を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【スタートアップ入力選択】画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで入力を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

【メディアプロセッサ [SLOT]】	入力を「メディアプロセッサ」に設定します。
-----------------------	-----------------------

【スケジュール】

コマンドの実行スケジュールを曜日ごとに設定します。

スケジュール機能の有効 / 無効を設定する

- 1) メインメニューから【プロジェクターセットアップ】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【プロジェクターセットアップ】画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで【スケジュール】を選択する
- 4) ◀▶ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

【オフ】	スケジュール機能を無効にします。
【オン】	スケジュール機能を有効にします。スケジュールの設定方法については、“プログラムの割り当て方法” (14 ページ) または “各プログラムの設定方法” (15 ページ) をご覧ください。

プログラムの割り当て方法

- 1) メインメニューから【プロジェクターセットアップ】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【プロジェクターセットアップ】画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで【スケジュール】を選択する
- 4) ◀▶ボタンで【オン】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【スケジュール】画面が表示されます。
- 5) 曜日ごとにプログラムを選択し、割り当てる
 - ▲▼ボタンで曜日を選択し、◀▶ボタンでプログラム番号を選択します。
 - プログラムは、プログラム番号 1 ～ 7 まで設定できます。“- - -” は未設定を表します。

各プログラムの設定方法

- 1) メインメニューから [プロジェクターセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [スケジュール] を選択する
- 4) ◀▶ボタンで [オン] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [スケジュール] 画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで [プログラム編集] を選択する
- 6) ◀▶ボタンで設定したいプログラム番号を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 7) ▲▼ボタンでコマンド番号を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - ◀▶ボタンでページの切り換えができます。
- 8) ▲▼◀▶ボタンで [時刻] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 調整モード (時刻が点滅している状態) になります。
- 9) ◀▶ボタンで「時」または「分」を選択して、▲▼ボタンまたは数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで時刻を設定し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 10) ▲▼◀▶ボタンで [コマンド] を選択する
- 11) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [コマンド] 詳細設定画面が表示されます。
- 12) ▲▼ボタンで [入力] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 13) ▲▼ボタンで設定したい入力を選択する

[コマンド]	[コマンド] の詳細設定	説明
[入力]	[メディアプロセッサ (SLOT)]	[メディアプロセッサ] に入力を切り換えます。

- 14) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - コマンドが確定し、選択しているコマンドの左側に●が表示されます。
 - コマンドが確定したあとは 〈MENU〉 ボタンを押して詳細設定画面を閉じます。
- 15) ▲▼◀▶ボタンで [登録] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- すでに設定されているコマンドを削除する場合は、手順 7) の画面を表示中にリモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すか、手順 8) の画面で [削除] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押してください。
- 同じ時刻に設定されたコマンドは、コマンド番号の若い順に実行されます。
- 時刻は、プロジェクターに設定されているローカル時刻で動作します。
- [スケジュール] で設定されたコマンドの実行前に、リモコンや本体操作部での操作、制御コマンドによる操作を実行した場合、スケジュール機能で設定したコマンドが実行されないことがあります。

[REMOTE2 端子モード]

〈REMOTE 2 IN〉端子を設定します。

- 1) メインメニューから [プロジェクターセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [REMOTE2 端子モード] を選択する
- 4) ◀▶ボタンで [ユーザー] に切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[標準]	〈REMOTE 2 IN〉端子のピン配列をプロジェクターの標準設定で使用します。
[ユーザー]	〈REMOTE 2 IN〉端子の設定を変更する場合に使用します。

- 5) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [REMOTE2 端子モード] 画面が表示されます。
- 6) ▲▼ボタンで [3 番ピン] から [7 番ピン] までのいずれかを選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[メディアプロセッサ [SLOT]]	「メディアプロセッサ」入力に設定します。
-----------------------	----------------------

[ステータス]

スロットにボードを取り付けている場合、ボードの製品品番を確認できます。

- 1) メインメニューから [プロジェクターセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [ステータス] を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ステータス] 画面が表示されます。
- 5) ◀▶ボタンを押してページを切り換える
 - ボタンを押すごとに、ページが切り換わります。

[SLOT]	スロットに取り付けられている本ボードの品番「ET-SBFMP10」が表示されます。 なお、本ボードはファームウェアのバージョン表示に対応していません。
--------	--

【イーサネットタイプ】

イーサネット信号の伝送経路を設定します。

- 1) メインメニューから【ネットワーク】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【ネットワーク】画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで【イーサネットタイプ】を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 【イーサネットタイプ】画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで項目を選択する

[LAN]	イーサネット信号の伝送に、プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子のみを使用する場合に選択します。
[DIGITAL LINK] *1	イーサネット信号の伝送に、プロジェクター標準搭載の〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子のみを使用する場合に選択します。
[LAN [SLOT]]	イーサネット信号の伝送に、本ボードの〈LAN〉端子のみを使用する場合に選択します。
[LAN & DIGITAL LINK] *1	イーサネット信号の伝送に、プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を使用する場合に選択します。

*1 〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を標準搭載しているプロジェクターの場合に選択できます。

- 6) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 【イーサネットタイプ】を [LAN] または [LAN [SLOT]] に設定した場合、プロジェクター標準搭載の〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子に接続した別売品の DIGITAL LINK 出力対応機器（品番：ET-YFB100、ET-YFB200）を経由してのイーサネット・シリアル制御信号の伝送はできません。
- 【イーサネットタイプ】を [LAN & DIGITAL LINK] に設定すると、プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子がプロジェクターの内部で接続された状態になります。プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を直接 LAN ケーブルで接続しないでください。また、ハブやツイストペアケーブル伝送器などの周辺機器を介して同じネットワークに接続しないようにシステムを構成してください。

情報表示機能について

プロジェクターのスロットに本ボードを取り付けることによって操作できる情報表示機能について説明します。次の表に✓がある項目において、本ボードからの出力映像に該当する「入力」には [MEDIA PROC.] と表示されます。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書 詳細編」と合わせてご覧ください。

情報表示機能		PT-RQ25K PT-RQ18K PT-RZ24K PT-RZ17K PT-RZ14K	PT-REQ15 PT-REQ12 PT-REQ10	PT-REZ15 PT-REZ12 PT-REZ10 PT-REZ80	PT-RQ7 PT-RQ6 PT-RZ6
トップメニュー項目	サブメニュー項目				
[USER VIEW]	—	✓	—	—	—
[STATUS]	[PROJECTOR]	✓	—	—	—

プロジェクターの Web 制御機能について

プロジェクターのスロットに本ボードを取り付けることによって操作できる、プロジェクター本体の Web 制御機能について説明します。

次の表に✓がある項目において、本ボードからの出力映像に該当する「入力」には “メディアプロセッサ” と表示されます。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書 詳細編」と合わせてご覧ください。

オンスクリーンメニュー		PT-RQ25K PT-RQ18K PT-RZ24K PT-RZ17K PT-RZ14K	PT-REQ12 PT-REQ10	PT-REZ12 PT-REZ10 PT-REZ80	PT-REQ15 PT-REZ15 PT-RQ7 PT-RQ6 PT-RZ6
メインメニュー項目	詳細メニュー項目				
[モニター情報]	[リモートプレビューライト]	✓	✓	✓	—
	[プロジェクター情報]	✓	✓	✓	—
[プロジェクターコントロール]	[基本制御]	✓	✓	✓	—
	[詳細制御]	✓	✓	✓	—
[ホーム]	[入力]	—	—	—	✓
[ステータス]	—	—	—	—	✓
[設置調整]	[OSD コントロール]	—	—	—	✓
	[スケジュール]	—	—	—	✓

Web 制御機能を使用する

本ボードはネットワーク機能を備えており、コンピューターから本ボードにアクセスすることで、次のようなことができます。

- ボードの各種設定
- ボードの状態表示
- 再生機能の設定と操作
- ボードのファームウェアのアップデート
- ボードを取り付けているプロジェクターのネットワーク機能へのアクセス

再生機能を使用する場合は、次の項目も併せてご覧ください。

- “再生機能を使用する” (👁️ 41 ページ)

お知らせ

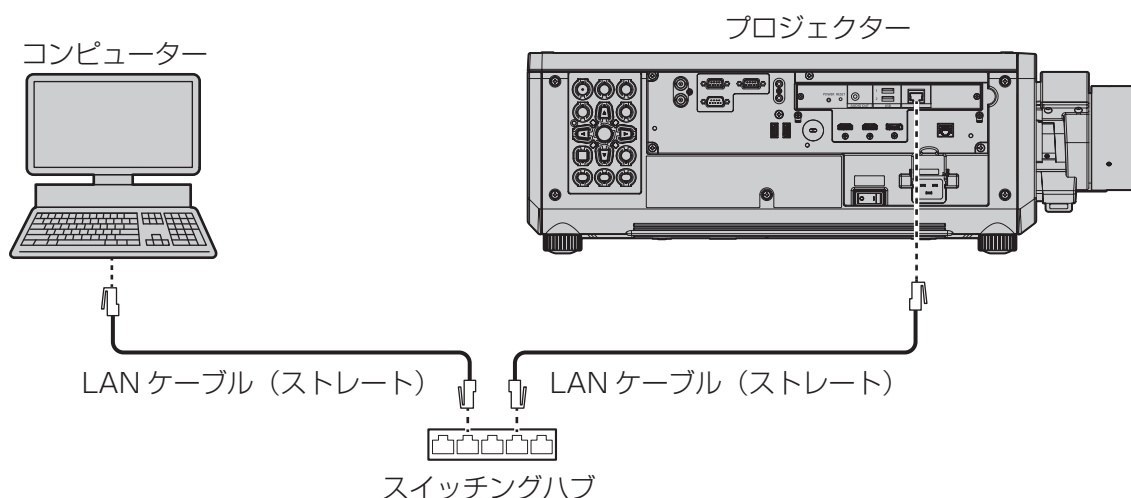
- 本ボードのネットワーク機能を使用するには、アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定する必要があります。(👁️ 21 ページ)
アカウントを設定していない場合、本ボードのネットワーク機能は使用できません。
なお、本ボードのアカウントには管理者権限アカウント、標準ユーザーアカウントの区分がありません。設定されたアカウントは管理者権限アカウントとして使用できます。

使用できるコンピューター

Web 制御機能を使用するには、Web ブラウザーが必要です。あらかじめ Web ブラウザーが使用できることを確認してください。

OS	対応ブラウザ
Windows	Microsoft Edge
Mac OS	Safari 17.0

接続例



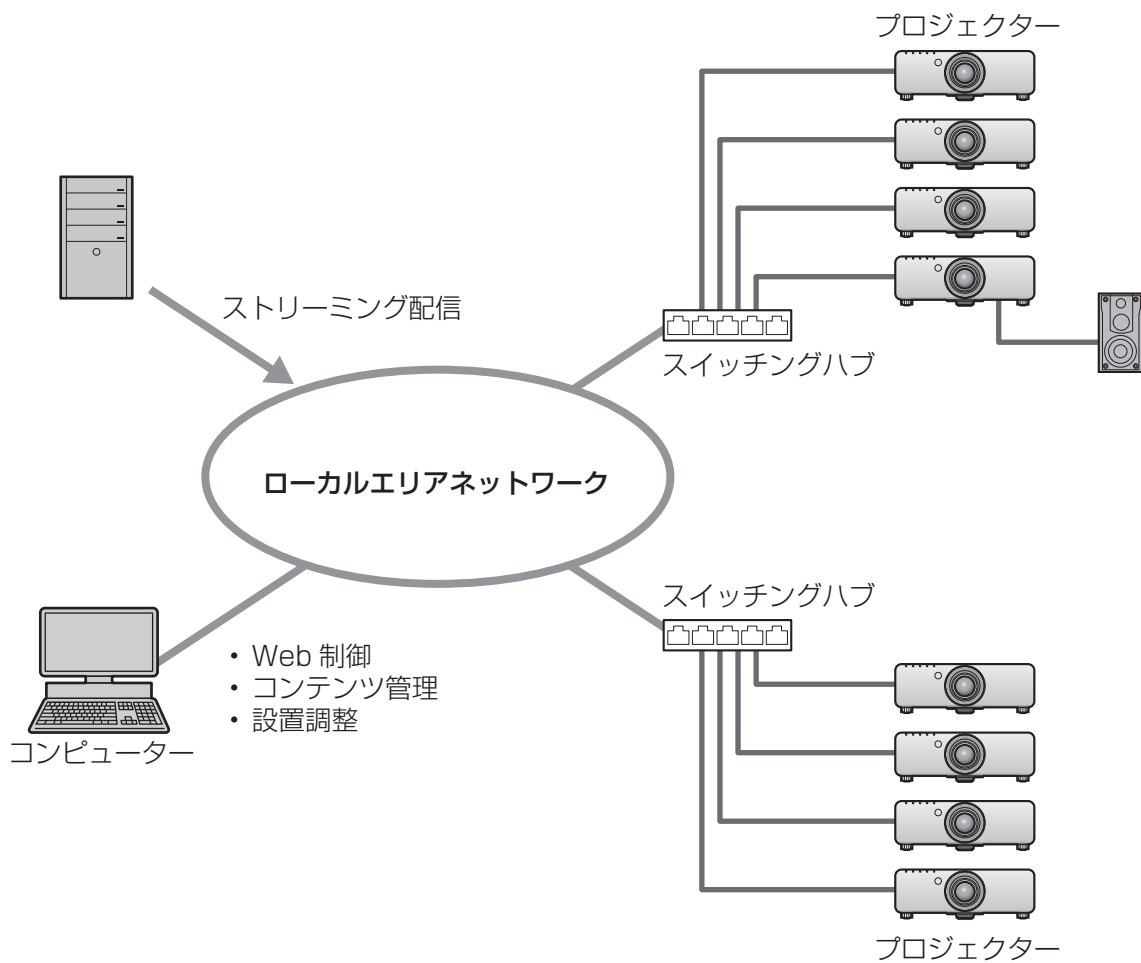
お願い

- 本ボードおよびプロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはストレートまたはクロス結線で、CAT5e 以上の規格に適合したものをご使用ください。システムの構成によってストレート / クロスのいずれか、または両方のケーブルを使用可能かが異なりますので、ネットワーク管理者にご確認ください。本ボードについては、ケーブルの種類 (ストレート / クロス) を自動的に判別します。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。
- 本ボードの〈LAN〉端子を使用して、ボード上のハブを介してプロジェクターのネットワーク機能にアクセスすることもできます。

■ 運用イメージ



設定する

本ボードにはあらかじめネットワークの設定がされています。

本ボードを初めて使用する場合や、ボードのネットワーク設定を初期化した場合は、運用時に接続するネットワーク環境に合わせた設定に変更する必要があります。そのため、ネットワーク管理者からの指示に従って設定変更を行ってください。

また、本ボードを初めて使用する場合や、すべてのユーザー設定データを初期化した場合はタイムゾーンが工場出荷時の設定になっています。ご使用の場所に合わせてタイムゾーンを設定してください。

さらに、本ボードを初めて使用する場合や、ボードのネットワーク設定を初期化した場合は、アカウントが設定されていない状態であるため、併せてアカウントを設定してください。

1) コンピューターとボードを LAN ケーブルで接続する

- 設定に使用するコンピューターと、プロジェクターに取り付けたボードを、LAN ケーブルを介して接続してください。

2) コンピューターとプロジェクターの電源を入れる

3) コンピューターのネットワーク設定を行う

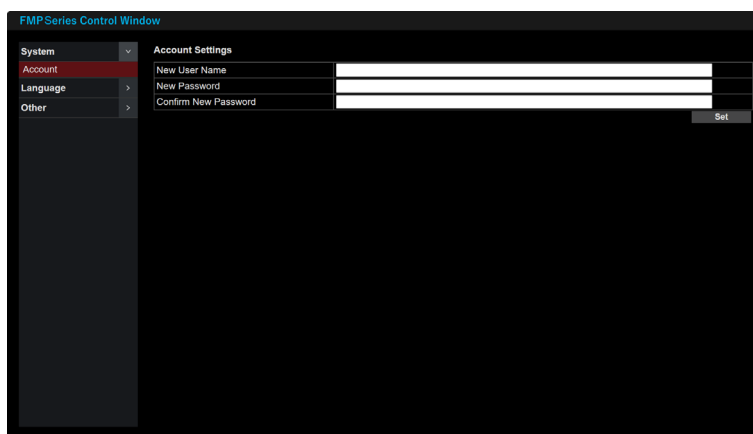
- 次のように設定すると、ボードとのネットワーク接続が確立します。

[IPアドレス]	192.168.0.10
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.0.1

4) コンピューターの Web ブラウザーを起動する

5) Web ブラウザーからボードの Web 制御機能にアクセスする

- Web ブラウザーの URL 入力欄に、あらかじめ本ボードに設定されている IP アドレス（192.168.0.9）を入力してください。
- Web 制御画面の [Account] ページが表示されます。



6) [New User Name] にユーザー名を入力する

- アカウントとして使用するユーザー名を入力してください。
- 設定できるユーザー名は半角で 16 文字までです。

7) [New Password] にパスワードを入力する

- アカウントに設定するパスワードを入力してください。
- パスワードを空白に設定することはできません。
- 設定できるパスワードは半角で 16 文字までです。
- パスワードには、次の 4 つの文字の種類のうち少なくとも 3 つを含めることを推奨します。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (!@#\$%^&*()_+~|:][<>.,/?)

8) [Confirm New Password] にパスワードを入力する

- 手順 7) で入力したパスワードを入力してください。

9) [Set] をクリックする

- アカウントの設定が完了します。
- ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。
- ログイン画面が、すでに開いている他のウィンドウに隠れている場合があります。この場合は、手前にあるウィンドウを最小化してログイン画面を表示させてください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.9 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

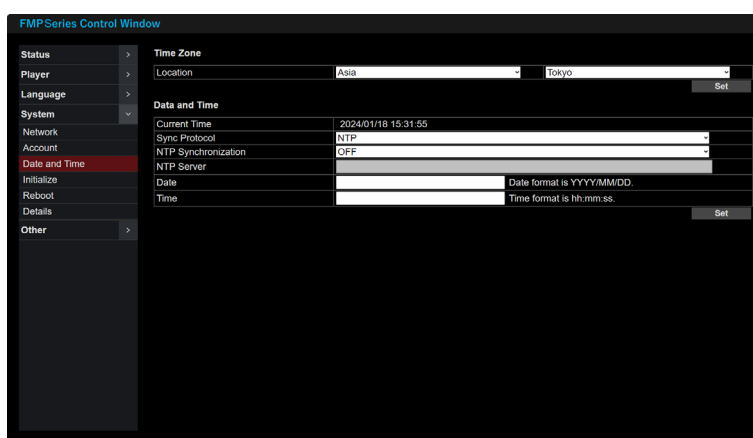
ユーザー名

パスワード

10) アカウントのユーザー名とパスワードを入力する

11) [サインイン] または [OK] をクリックする

- Web 制御画面の [Date and Time] ページが表示されます。



12) タイムゾーンの設定を変更する

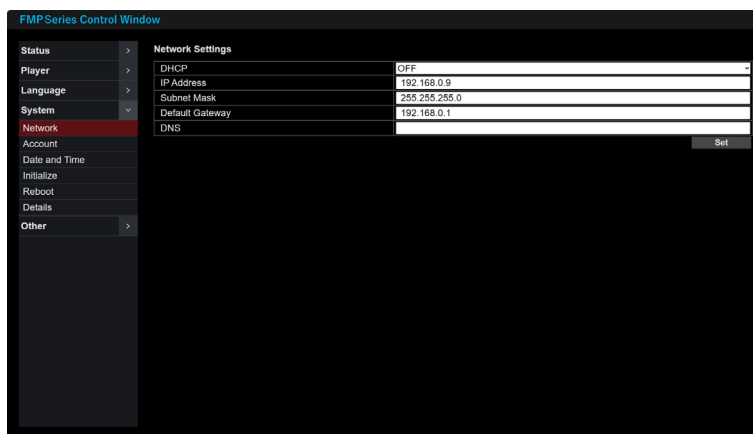
- ご使用の場所に合わせて [Location] の地域および都市を選択してください。
- Web 制御画面の操作について詳しくは、“Web ブラウザーからアクセスする” (👁️ 23 ページ) をご覧ください。

13) [Set] をクリックする

- タイムゾーンの設定が反映されます。

14) [System] メニュー → [Network] をクリックする

- [Network] ページが表示されます。



15) ネットワークの設定を変更する

- 各項目を、運用時に接続するネットワーク環境に合わせた設定に変更してください。
- 工場出荷時、およびネットワーク設定を初期化した場合は次のように設定されています。

[DHCP]	OFF
[IP Address]	192.168.0.9
[Subnet Mask]	255.255.255.0
[Default Gateway]	192.168.0.1
[DNS]	なし

16) [Set] をクリックする

- クリックすると確認画面が表示されるので [OK] を選択してください。
- 入力したネットワークの設定が反映されます。
- 工場出荷時の設定から変更した場合は、設定に使用したコンピューターとの接続が切れます。必要に応じて、コンピューターのネットワークの設定を変更してください。

お知らせ

- 本ボードのアカウントには管理者権限アカウント、標準ユーザーアカウントの区分がありません。設定されたアカウントは管理者権限アカウントとして使用できます。
- 本ボードを初めて使用する場合や、ボードのネットワーク設定を初期化した場合、Web 制御画面は英語で表示されます。[Language] メニュー → [Language] ページで日本語に切り換えることができます。

Web ブラウザーからアクセスする

ここからは、Web 制御画面の [言語] メニュー → [言語設定 (Language)] ページ (👁️ 30 ページ) で表示言語を [日本語] に設定していることを前提とした説明を行います。

1) コンピューターの Web ブラウザーを起動する

2) Web ブラウザーからボードにアクセスする

- Web ブラウザーの URL 入力欄に、ボードに設定されている IP アドレスを入力してください。
- ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.9 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

3) アカウントのユーザー名とパスワードを入力する

4) [サインイン] または [OK] をクリックする

- Web 制御画面の [ステータス] ページが表示されます。



お願い

- ログイン画面が、すでに開いている他のウィンドウの下に隠れている場合があります。この場合は、手前にあるウィンドウを最小化してログイン画面を表示させてください。

お知らせ

- Web ブラウザーを同時に複数立ち上げて設定や操作をすることは避けてください。また、複数台のコンピューターから特定のボードに対して同時に設定や操作をすることも避けてください。
- ボードの Web 制御画面には、Web ブラウザーの JavaScript 機能を利用している項目があります。Web ブラウザーがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールできないことがあります。
- Web 制御画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- Web 制御画面の表示の更新時に、ボードからの出力映像が一瞬白く見えることがありますが、故障ではありません。
- コンピューターの画面イラストについて
お客様がお使いの OS や Web ブラウザー、コンピューターの種類によって、画面の大きさや表示が本書に掲載されている画面例と異なることがあります。

各項目の説明



1 ページ切り換えメニュー

表示するページを選択するためのアコーディオン式のメニューです。上位のメニュー項目をクリックすることで、隠れている下位のメニュー項目を表示できます。もう一度上位のメニュー項目をクリックすると、下位のメニュー項目が非表示になります。

2 【ステータス】

ボードの情報や状態を表示するメニュー項目が表示されます。(☞ 25 ページ)

3 【プレーヤー】

再生機能の設定や、オーディオ制御、ストリーミングコンテンツの操作を行うメニュー項目が表示されます。(☞ 26 ページ)

4 【言語 (Language)】

表示言語を選択するメニュー項目を表示します。(☞ 30 ページ)

5 【システム】

ネットワークの設定や、アカウント情報の変更、日時の設定、設定の初期化、ボードの再起動操作、ボードの詳細設定を行うメニュー項目が表示されます。(☞ 31 ページ)

6 【その他】

次の操作を行うメニュー項目が表示されます。
ファームウェアのアップデート (☞ 38 ページ)
オープンソースソフトウェアライセンスのダウンロード (☞ 39 ページ)
エラー / 警告発生ログのダウンロード (☞ 40 ページ)

【ステータス】 について

【ステータス】 ページ

本ボードの情報や状態を表示します。

【ステータス】メニュー→【ステータス】をクリックします。



■【再生情報】

【プレーヤー】を【Schedule】に設定している場合



【プレーヤー】を【NDI(NDI Decoder)】に設定している場合



1 【再生情報】

スケジュール再生中のコンテンツ、またはストリーミング再生中のコンテンツの情報を表示します。【プレーヤー】メニュー→【設定】→【プレーヤー】(☞ 26 ページ)の設定によって表示される情報が異なります。

2 【製品品番】

ボードの製品品番が表示されます。

3 【稼働時間】

ボードの稼働時間が表示されます。コンテンツを再生していなくても時間が経過します。

4 【ストレージ残容量】

ボード上のストレージの空き容量を表示します。

5 【ファームウェアバージョン】

ボードのファームウェアバージョンを表示します。

6 【シリアル番号】

ボードのシリアル番号が表示されます。

7 【エラー / 警告】

ボードにエラーや警告が発生すると、その内容が記号で表示されます。内容の詳細については、「自己診断表示について」(☞ 44 ページ)をご覧ください。

8 【コンテンツ】

スケジュール再生しているコンテンツ名を表示します。再生が停止中の場合は「-」と表示します。

9 【出力信号情報】

再生中のコンテンツの信号フォーマットを表示します。再生が停止中、または信号が途絶えている場合は「-」と表示します。

10 【ステータス】

再生中のコンテンツのステータスを表示します。

11 【NDI 入力信号情報】

ストリーミング再生しているコンテンツの信号フォーマットを表示します。再生が停止中の場合は「-」と表示します。

お知らせ

- 【ステータス】ページの表示内容は、30 秒ごとに更新されます。

【プレーヤー】について

【設定】 ページ

再生機能の選択や出力方法などの設定を行います。
【プレーヤー】メニュー→【設定】をクリックします。



- 1 **【プレーヤー】**
再生機能を選択します。
【Schedule】：スケジュール再生を行います。
【NDI (NDI Decoder)】：NDI に対応したストリーミングコンテンツの再生を行います。
- 2 **【ドメイン番号】**
同一ネットワークに本ボードを取り付けたプロジェクターを複数台接続して同期再生を行う場合に、識別用の番号を設定します。
設定できる番号は 0 ~ 127 の半角数字です。
【デバイス数】を [1] に設定している場合、【ドメイン番号】の設定は無効です。
- 3 **【プライマリ / セカンダリー】**
同期再生を行う場合に設定します。
【デバイス数】を [1] に設定している場合、【プライマリ】に固定されます。
【システム】メニュー→【日付と時刻】ページ→【同期プロトコル】を【SoftwareSync】に設定している場合、この設定を変更すると【システム】メニュー→【日付と時刻】ページ→【プライマリ / セカンダリー】の設定も変更されます。
【プライマリ】：複数のボードの同期再生時に同期元として動作します。同一ドメイン番号内で【プライマリ】に設定できるボードは 1 つです。
【セカンダリー】：【プライマリ】に設定されたボードに同期して再生を行います。同期元となるボード以外は【セカンダリー】に設定します。
- 4 **【デバイス数】**
同期再生を行うボードの数を入力します。(最大 255)
同期再生を行わない場合は [1] に設定してください。
- 5 **【映像信号】**
ボードから出力する映像信号のフォーマットを選択します。
【オート】：ボードを取り付けているプロジェクターの EDID を読み取って信号フォーマットを自動的に選択します。
【3840x2160/60p】：3 840 x 2 160p 60 Hz で出力します。
【3840x2160/50p】：3 840 x 2 160p 50 Hz で出力します。
【1080/60p】：1 920 x 1 080p 60 Hz で出力します。
【1080/50p】：1 920 x 1 080p 50 Hz で出力します。
- 6 **【設定】**
【設定】ページの設定内容をボードに反映します。

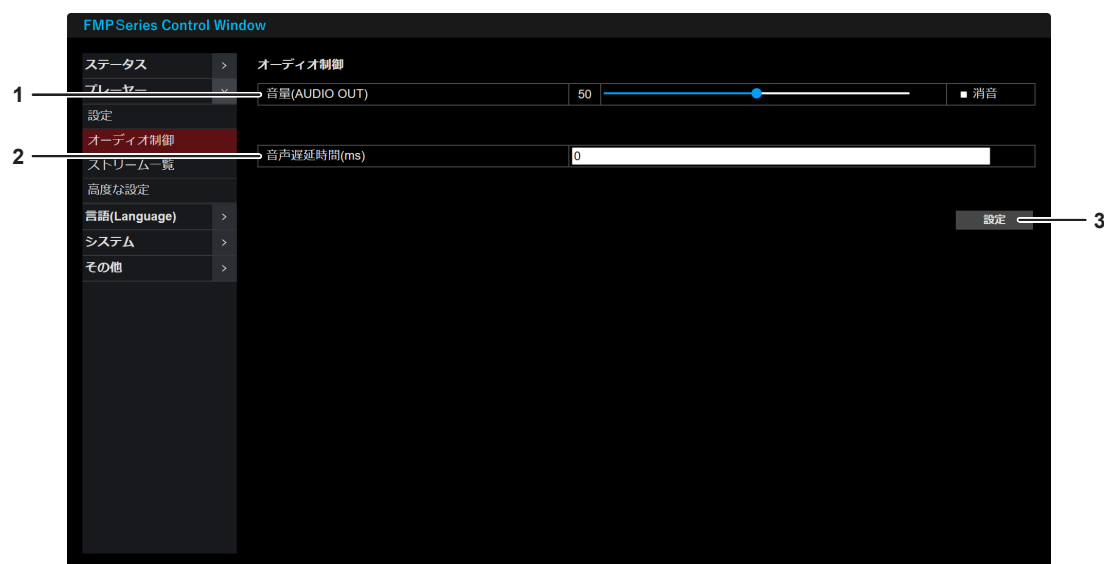
お知らせ

- スケジュール再生とは、ボード上のストレージに保存された静止画 / 動画コンテンツを、設定されたスケジュールに従って再生する機能です。コンテンツの登録やスケジュールの作成には、「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能を使用します。「Visual Software Suite」の詳細やダウンロードについては、次の Web サイトをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
 なお、詳細を確認したり、ダウンロードしたりするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。
- ストリーミング再生とは、同一ネットワーク上にあるコンテンツデータを取り込みながら再生する機能です。コンテンツの選択と再生操作は、「ストリーム一覧」ページ (28 ページ) で行います。
- [プライマリー / セカンダリー] の設定項目は、次の項目と共通です。
 - [システム] メニュー → [日付と時刻] ページ → [プライマリー / セカンダリー]
- 同期再生を行うボード数として [デバイス数] で設定した数と、実際にネットワーク上に存在する稼働中の数が異なる場合は、コンテンツの再生を開始できません。[デバイス数] の設定と、ボードを取り付けている各プロジェクターの電源状態とネットワーク接続状態をご確認ください。
- 本ボードは、メディアプロセッサ (品番: ET-FMP50、ET-FMP20) と同期再生することもできます。
- [映像信号] を [オート] に設定している場合、ボードを取り付けているプロジェクターの EDID を読み取って次のいずれかの信号フォーマットで出力します。
 - 3840x2160/60p (3 840 x 2 160p 60 Hz)
 - 3840x2160/50p (3 840 x 2 160p 50 Hz)
 - 1080/60p (1 920 x 1 080p 60 Hz)
 - 1080/50p (1 920 x 1 080p 50 Hz)
- スケジュール再生に使用されるコンテンツの解像度が、ボードの出力解像度と異なる場合は、解像度を変換して出力されます。
- スケジュール再生に使用されるコンテンツの音声コーデックは MPEG4 AAC-LC ですが、リニア PCM に変換してボードの〈AUDIO OUT〉端子から出力されます。

【オーディオ制御】 ページ

音声機能の設定を行います。

[プレーヤー] メニュー → [オーディオ制御] をクリックします。



1 【音量 (AUDIO OUT)】

〈AUDIO OUT〉端子から出力する際の音量を、スライダーバーを使用して [0] ~ [100] の範囲で調整します。

[消音] にチェックを入れると音声出力を停止します。

2 【音声遅延時間】

〈AUDIO OUT〉端子から出力される音声映像表示のタイミングと合わない場合に、音声の遅延時間を [0] ms ~ [171] ms の範囲で設定できます。

工場出荷時の設定は [0] ms です。

3 【設定】

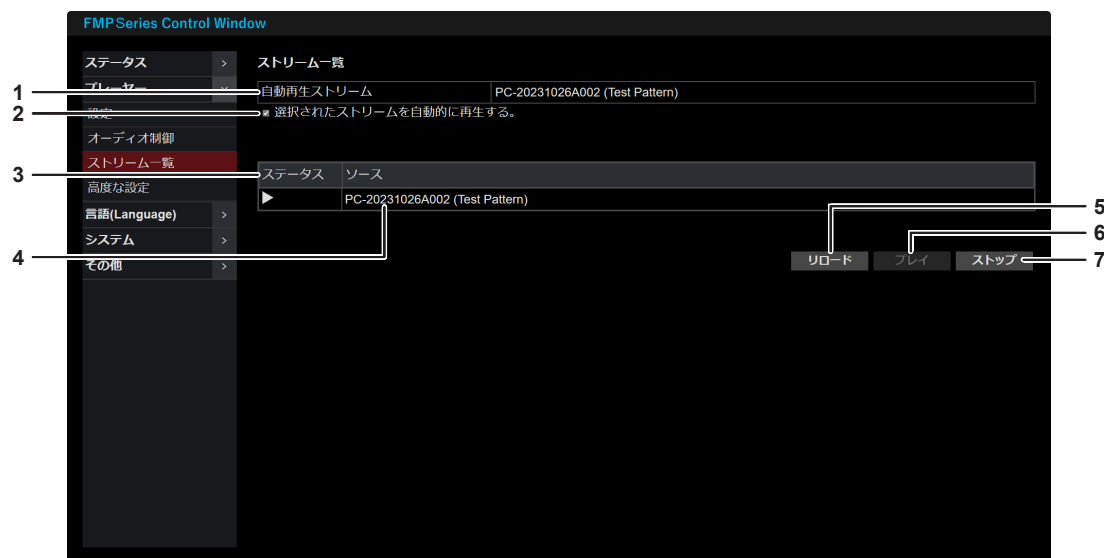
[オーディオ制御] ページの設定内容をボードに反映します。

【ストリーム一覧】 ページ

ストリーミング再生を行うコンテンツの操作を行います。

[プレーヤー] メニュー→ [設定] ページ→ [プレーヤー] を [NDI (NDI Decoder)] に設定している場合に操作できます。

[プレーヤー] メニュー→ [ストリーム一覧] をクリックします。



1 【自動再生ストリーム】

「選択されたストリームを自動的に再生する。」にチェックを入れたときに、[ソース] のリストで選択中のデバイスのコンテンツが自動再生の対象として表示されます。チェックを外すとデバイスの表示が消えます。

2 【選択されたストリームを自動的に再生する。】

チェックを入れると、ボードを取り付けているプロジェクターが次回投写状態になったあと、[自動再生ストリーム] に表示されているデバイスのコンテンツが自動的に再生を開始します。また、チェックを入れていると、ストリーミング再生中に [プレーヤー] メニュー→ [設定] ページで設定変更を行った場合でも、設定変更完了後に自動的に再生を再開します。チェックを外している場合、再生は再開されません。

3 【ステータス】

再生状況を表示します。
 ■：停止中
 ▶：再生中

4 【ソース】

本ボードと同一のネットワーク上に検出されたソースがリスト表示されます。デバイス名やアプリケーション名、シリアル番号などからなる、ソースに依存したコードが最大 64 文字で表示されます。

5 【リロード】

クリックすると、ソースのリスト表示を更新します。

6 【プレイ】

クリックすると、選択中のデバイスのコンテンツを再生します。

7 【ストップ】

クリックすると、再生を停止します。

自動再生ストリームを設定する

自動的に再生を開始するストリームの設定のポイントは次のとおりです。

■ ボードがプライマリーに設定されている場合

- [設定] ページの [プライマリー / セカンダリー] を [プライマリー] に設定している場合、[自動再生ストリーム] にデバイスが表示されていない状態で [ソース] のリストに表示されているデバイスを選択し、そののちに [選択されたストリームを自動的に再生する。] にチェックを入れると、選択したデバイスが自動再生ストリームとして設定されます。
- [選択されたストリームを自動的に再生する。] のチェックを外すと、自動再生ストリームの設定が解除され、[自動再生ストリーム] からデバイスの表示が消えます。
- [自動再生ストリーム] にデバイスが表示された状態で、かつ [選択されたストリームを自動的に再生する。] にチェックを入れた状態で、[ソース] のリストに表示されている他のデバイスを選択すると、選択したデバイスが自動再生ストリームとして再設定されます。

■ ボードがセカンダリーに設定されている場合

- [設定] ページの [プライマリー / セカンダリー] を [セカンダリー] に設定している場合、再生操作はできません。
- [自動再生ストリーム] には、プライマリー設定のボードで設定されている自動再生ストリームが自動的に反映されます。
- プライマリー設定のボードとは異なるストリームを自動再生したい場合は、[選択されたストリームを自動的に再生する。] にチェックを入れたまま [プライマリー / セカンダリー] を [プライマリー] に変更し、[ソース] のリストから他のデバイスを選択して新たな自動再生ストリームとして設定します。そののちに [プライマリー / セカンダリー] を [セカンダリー] に戻すことで設定が完了します。

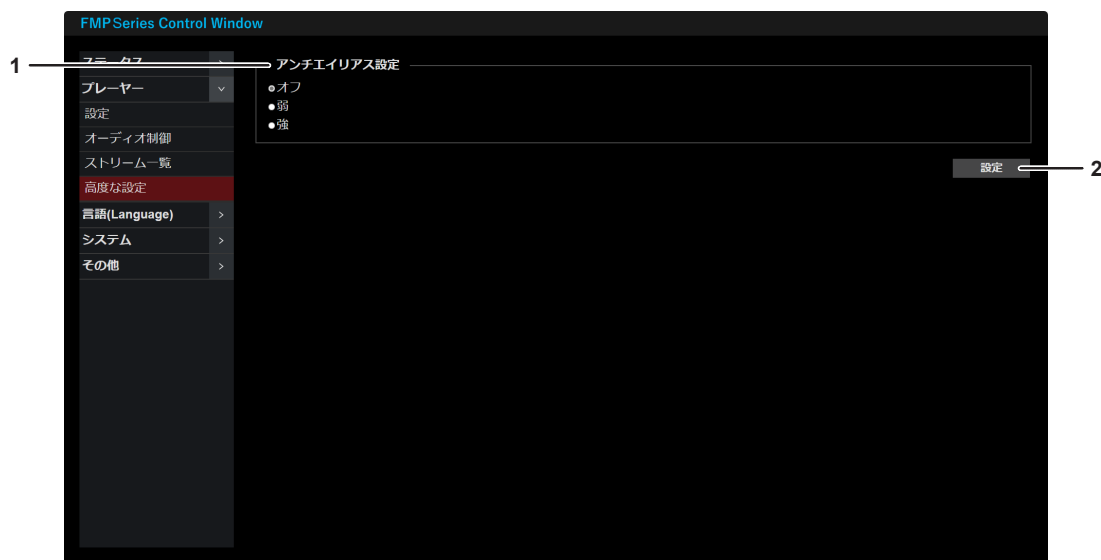
お知らせ

- ボードを取り付けているプロジェクターの主電源が入っていない場合またはスタンバイ状態の場合、[ストリーム一覧] ページの操作はできません。プロジェクターが投写状態になると操作が可能になります。

【高度な設定】 ページ

再生機能に関する高度な設定を行います。

[プレーヤー] メニュー→ [高度な設定] をクリックします。



1 【アンチエイリアス設定】

アンチエイリアス処理の強度を設定します。アンチエイリアス処理を行うと、斜めの境界線に生じるジャギー現象を軽減し、より滑らかな表現を実現することができます。
 [オフ]：アンチエイリアス処理を行いません。
 [弱]：アンチエイリアス処理を軽く施します。
 [強]：アンチエイリアス処理を強く施します。

2 【設定】

[高度な設定] ページの設定内容をボードに反映します。

お知らせ

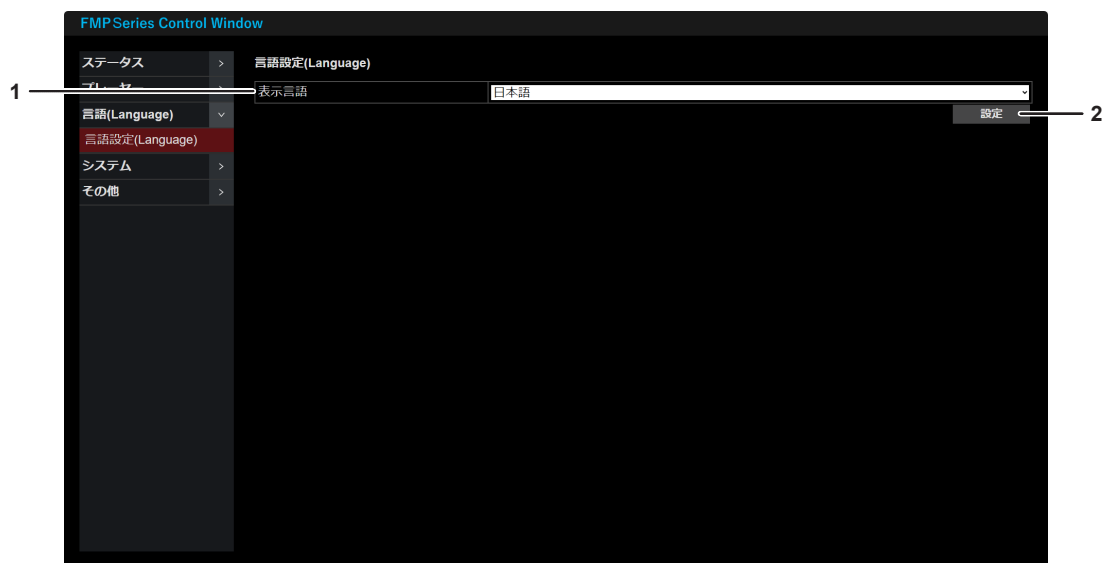
- ジャギー現象とは、デジタル画像やコンピュータグラフィックスにおいて、斜めの線やエッジ部分が段階的に表示され、鋸歯状の輪郭やざらついた見た目になる現象を指します。
- アンチエイリアス処理を施すことでジャギー現象が軽減し、滑らかな印象を与えることができますが、その一方で、文字や画像の繊細なディテールが失われ、ぼやけた印象を与える可能性があります。使用するコンテンツに応じて、適切な【アンチエイリアス設定】を選択してください。たとえば、細部のディテールを重視する場合は【オフ】を選択し、全体的な見た目を重視する場合は【弱】または【強】を選択することをお勧めします。
- 「Visual Software Suite」を起動しているコンピューターをネットワーク接続していると、本ボードの再生機能に影響を及ぼしてアンチエイリアス処理の効果が映像に反映されず、ジャギー現象が軽減されないことがあります。アンチエイリアス処理の強度を設定する際は、「Visual Software Suite」を終了してください。

【言語 (Language)】 について

【言語設定 (Language)】 ページ

Web 制御画面の表示言語を選択します。

【言語 (Language)】 メニュー → 【言語設定 (Language)】 をクリックします。



1 【表示言語】

Web 制御画面に表示する言語を選択します。

【英語 (English)】：英語で表示する場合に選択します。

【日本語】：日本語で表示する場合に選択します。

2 【設定】

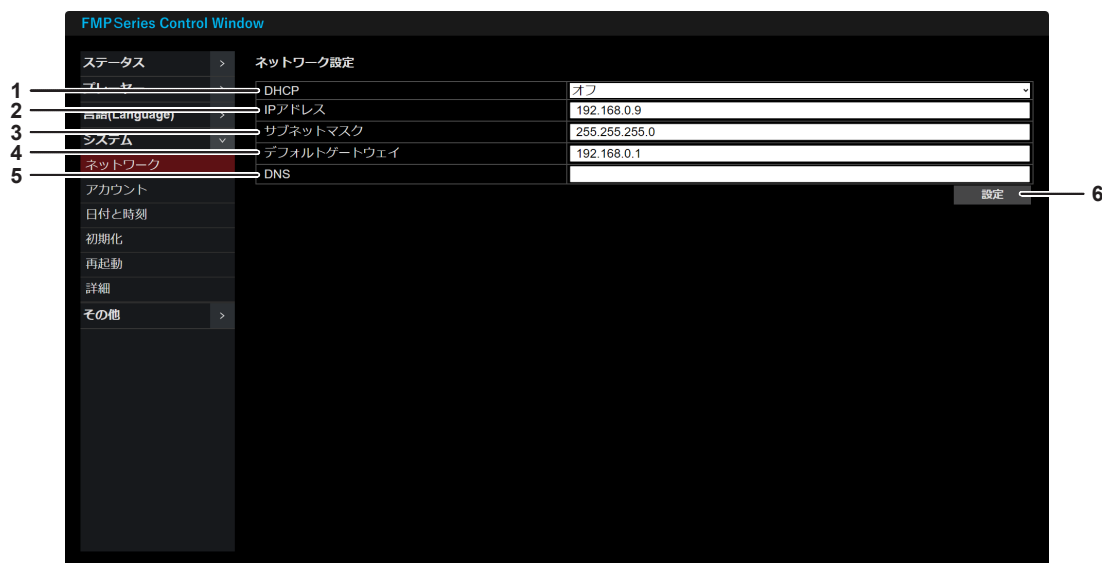
【表示言語】で選択した言語に Web 制御画面の表示が切り換わります。

[システム] について

[ネットワーク] ページ

有線 LAN を利用するための接続設定をします。

[システム] メニュー→ [ネットワーク] をクリックします。



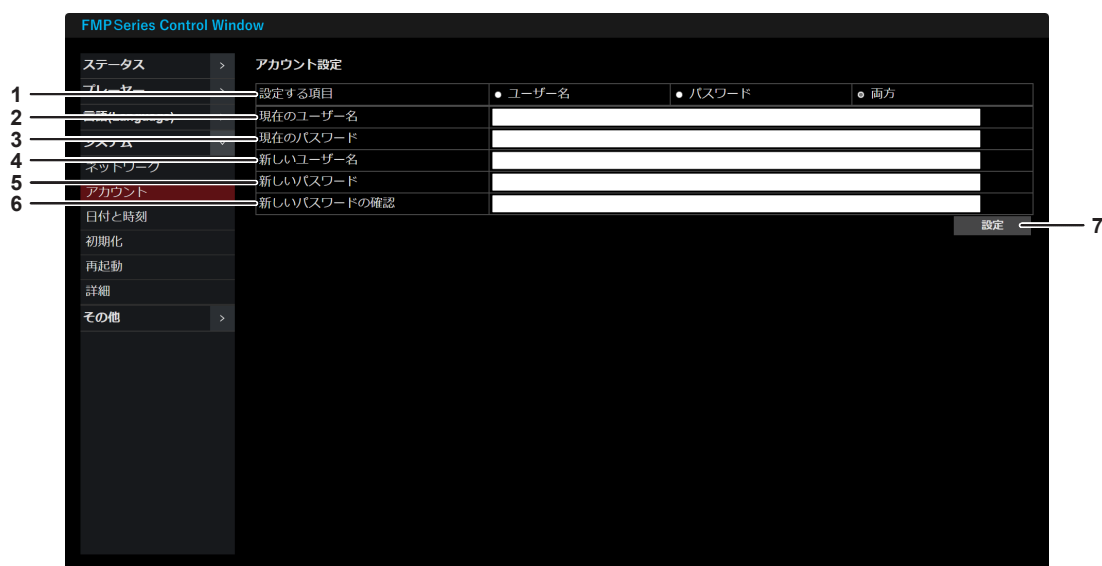
- 1 **[DHCP]**
[オン]：本ボードを接続するネットワークに存在する DHCP サーバーを利用して自動的に IP アドレスを取得します。
[オフ]：DHCP サーバーを利用しない場合に選択します。[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定してください。
- 2 **[IP アドレス]**
 DHCP サーバーを利用しない場合に、本ボードに手動で割り当てる IP アドレスを入力します。
- 3 **[サブネットマスク]**
 DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。
- 4 **[デフォルトゲートウェイ]**
 DHCP サーバーを利用しない場合にデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
- 5 **[DNS]**
 DNS サーバーのアドレスを入力します。
 入力使用可能文字：数字 (0 ~ 9)、ピリオド (.)
- 6 **[設定]**
 クリックすると確認画面が表示されるので [OK] を選択してください。[ネットワーク] ページの設定内容をボードに反映します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本ボードは、IPv6 アドレスには対応していません。
- 本ボードのネットワークの接続設定を変更すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れる場合があります。

【アカウント】 ページ

本ボードにアクセスするためのアカウントを設定します。
 [システム] メニュー→ [アカウント] をクリックします。



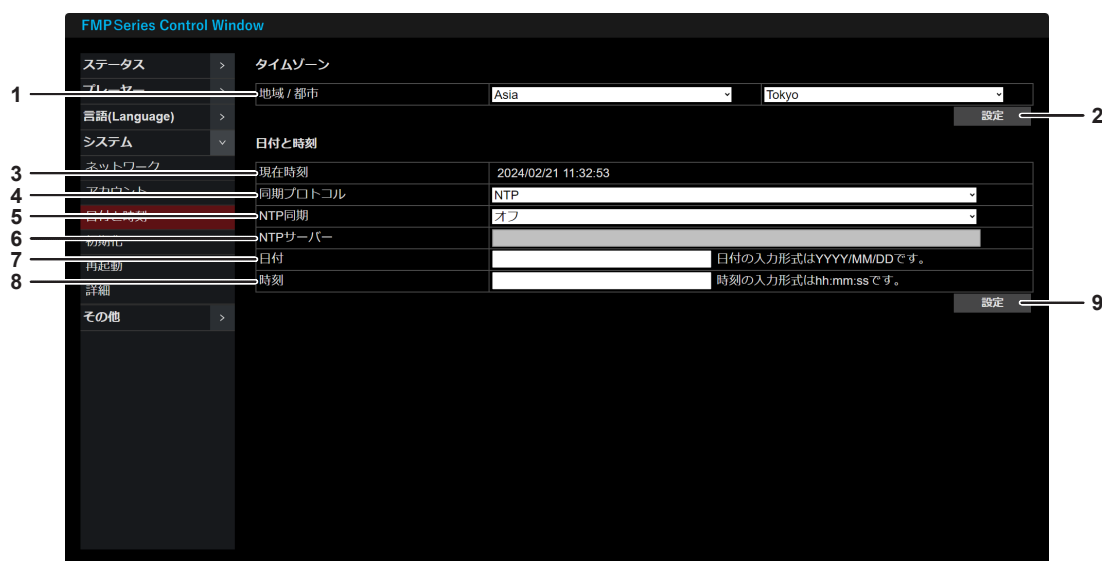
- 1 **【設定する項目】**
 設定を変更したい項目を選択します。
【ユーザー名】：ユーザー名のみを変更する場合にチェックを入れます。
【パスワード】：パスワードのみを変更する場合にチェックを入れます。
【両方】：ユーザー名とパスワードを変更する場合にチェックを入れます。
- 2 **【現在のユーザー名】**
 変更前のユーザー名を入力します。
- 3 **【現在のパスワード】**
 変更前のパスワードを入力します。
- 4 **【新しいユーザー名】**
 変更後のユーザー名を入力します。(半角で 16 文字まで)
- 5 **【新しいパスワード】**
 変更後のパスワードを入力します。(半角で 16 文字まで)
- 6 **【新しいパスワードの確認】**
 変更後のパスワードを再度入力します。
- 7 **【設定】**
 【アカウント】 ページの設定内容をボードに反映します。

お知らせ

- パスワードには、次の 4 つの文字の種類のうち少なくとも 3 つを含めることを推奨します。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (!@#\$%^&*()_+~|}|[<>.,/?')
- 「Visual Software Suite」や「複数台監視制御ソフトウェア」など、LAN 経由の通信制御を使用したアプリケーションソフトに本ボードをすでに登録している場合、アカウントのユーザー名またはパスワードを変更すると、本ボードとの通信ができなくなります。アカウントのユーザー名またはパスワードを変更した場合は、ご使用のアプリケーションソフトの登録情報を更新してください。

【日付と時刻】 ページ

本ボードに内蔵されている時計のタイムゾーンと日時を設定します。
 [システム] メニュー→【日付と時刻】 をクリックします。

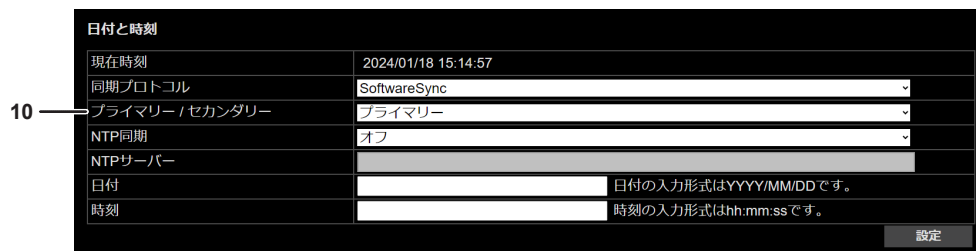


■【日付と時刻】

[同期プロトコル] を [NTP] に設定している場合



[同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定している場合



- 1 【地域 / 都市】
地域および都市を選択してタイムゾーンを設定します。
- 2 【設定】
タイムゾーンの設定をボードに反映します。
- 3 【現在時刻】
現在のローカル日時を表示します。
- 4 【同期プロトコル】
【NTP】：ネットワークを介して NTP (Network Time Protocol) サーバーと時刻同期を行う場合に選択します。ミリ秒単位の時刻同期精度です。
【SoftwareSync】：ボード間で PTP (Precision Time Protocol) 方式を用いた時刻同期を行う場合に選択します。マイクロ秒単位の時刻同期精度です。
- 5 【NTP 同期】
NTP サーバーとの同期を設定します。
【オン】：NTP サーバーと同期して、自動で日時を設定する場合に選択します。
【オフ】：NTP サーバーとは同期せず、【日付】と【時刻】を入力する場合に選択します。
- 6 【NTP サーバー】
【NTP 同期】を【オン】に設定している場合に、同期する NTP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力します。
- 7 【日付】
【NTP 同期】を【オフ】に設定している場合に、年月日を入力します。
- 8 【時刻】
【NTP 同期】を【オフ】に設定している場合に、時刻を入力します。
- 9 【設定】
【日付と時刻】の設定内容をボードに反映します。
- 10 【プライマリー / セカンダリー】
時刻の同期元となるボードに【プライマリー】を設定して、それ以外のボードには【セカンダリー】を設定します。設定を変更すると、[プレーヤー]メニュー→[設定]ページ→[プライマリー / セカンダリー]の設定も変更されます。

お知らせ

- [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [デバイス数] を [1] に設定している場合、[同期プロトコル] は [NTP] に固定されます。[デバイス数] を [1] 以外に設定すると、[同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定できます。
- [NTP サーバー] にサーバー名を入力する場合は、[システム] メニュー → [ネットワーク] ページの [DNS] に DNS サーバーアドレスを入力しておく必要があります。
- [NTP サーバー] には、次の半角文字を使用できます。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (/:%#\$&?()^.=+-)
- [同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定し、[プライマリー / セカンダリー] を [セカンダリー] に設定している場合、[NTP 同期] は設定できません。
- [プライマリー / セカンダリー] の設定項目は、次の項目と共通です。
 - [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [プライマリー / セカンダリー]
- 本ボードは、メディアプロセッサ（品番：ET-FMP50、ET-FMP20）と同期再生することもできます。
- ボードの再生機能を使用しているときに、[NTP 同期] の設定を変更して NTP サーバーと時刻同期することで内蔵時計の日時が大きく変化した場合、同期再生などの再生動作が不安定になることがあります。その場合は [システム] メニュー → [再起動] ページで、ボードの再起動を行ってください。
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、ボード上の組み込み電池の交換が必要です。必ず、お買い上げの販売店にご相談ください。

【初期化】 ページ

ユーザー設定データを初期化して、本ボードの設定を工場出荷時の状態に戻します。
[システム] メニュー→ [初期化] をクリックします。



1 【初期化オプション】

初期化したい項目を選択します。

【すべての設定】：すべてのユーザー設定データを初期化する場合にチェックを入れます。

【プレーヤー設定】：[プレーヤー] メニュー下のすべての設定内容を初期化する場合にチェックを入れます。

【幾何学補正設定】：[Visual Software Suite] の設置調整機能を用いて調整した内容を初期化する場合にチェックを入れます。

【ネットワーク設定】：[システム] メニュー→ [ネットワーク] ページの設定内容を初期化する場合にチェックを入れます。

2 【OK】

クリックすると確認画面が表示され、[OK] を選択すると【初期化オプション】で選択した項目の初期化を開始します。

初期化が完了すると確認画面が表示されるので [OK] をクリックしてください。初期化を完了させるために、ボードが再起動します。

お願い

- [OK] をクリックして初期化を開始した場合は、ボードが再起動して動作中になるまではプロジェクターの主電源を切らないでください。動作中になると、本ボードの電源インジケータ（POWER）が緑色に点灯します。（☞ 7 ページ）

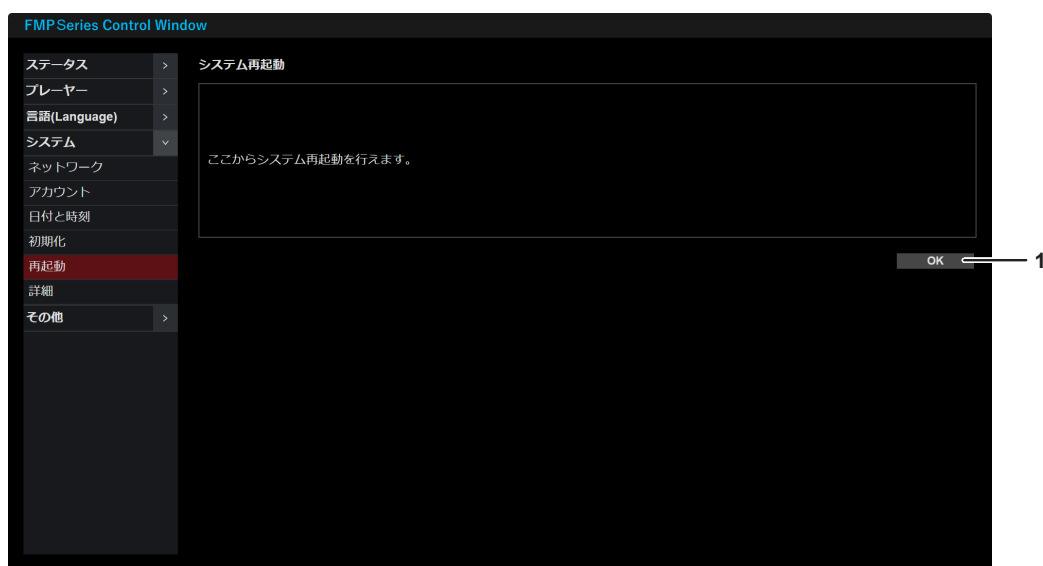
お知らせ

- 【初期化オプション】の【すべての設定】または【ネットワーク設定】を選択して初期化を行うと、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。また、アカウントの設定も初期化されます。再起動後、「設定する」（☞ 21 ページ）に従ってネットワークの設定とアカウントの設定を行ってください。
- 【初期化オプション】の【プレーヤー設定】を選択して初期化を行うと、[システム] メニュー→ [日付と時刻] の [プライマリー / セカンダリー] も初期化されます。
- 初期化を行っている最中は、本ボードの電源インジケータ（POWER）が緑色で点滅します。電源インジケータ（POWER）の状態表示について詳しくは、「電源インジケータについて」（☞ 7 ページ）をご覧ください。
- 「Visual Software Suite」の設置調整機能を用いて調整できる内容については、「Visual Software Suite」の取扱説明書をご覧ください。「Visual Software Suite」の取扱説明書は、次の Web サイトからダウンロードできます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
なお、ダウンロードするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

【再起動】 ページ

本ボードを再起動します。

[システム] メニュー→ [再起動] をクリックします。



- 1 [OK]
クリックすると確認画面が表示されるので [OK] を選択してください。ボードが再起動します。

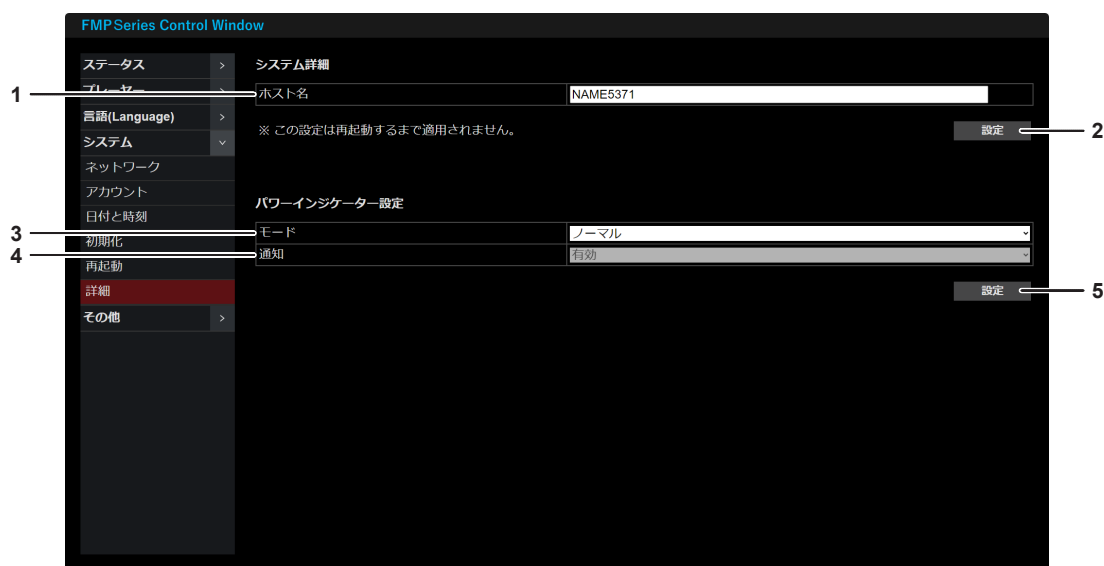
お知らせ

- 再起動すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。

【詳細】 ページ

本ボードの詳細設定を行います。

[システム] メニュー→ [詳細] をクリックします。



- 1 **【ホスト名】**
本ボードの名前を入力します。DHCP サーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。(半角で4文字～24文字まで)
- 2 **【設定】**
[ホスト名] の設定内容をボードに反映します。
- 3 **【モード】**
電源インジケータ (POWER) の動作モードを設定します。
【ノーマル】: ボードの状態に合わせて点灯・点滅します。
【オフ】: [通知] の設定に従って消灯・点滅します。
- 4 **【通知】**
【有効】: 正常動作中は、電源インジケータ (POWER) の緑色点灯は行わずに消灯します。エラー / 警告発生時など、正常動作中以外の場合には、ボードの状態に合わせて点灯・点滅します。
【無効】: ボードの状態によらず常時消灯します。ボードにエラー / 警告が発生した場合でも電源インジケータ (POWER) による通知を行いません。
- 5 **【設定】**
[モード] と [通知] の設定内容をボードに反映します。

お知らせ

- [ホスト名] には、次の半角文字を使用できます。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (-)
- 次の場合は、本ボードからプロジェクターに対して全黒の映像信号が出力されます。
 - スケジュール再生の停止中
 - ストリーミング再生の停止中
 - ストリーム映像が途絶えている
 - 初期化中
 - ファームウェアをアップデート中
- [通知] の設定にかかわらず、本ボードの起動中は、ボードの電源インジケータ (POWER) がオレンジ色に点灯します。
- 電源インジケータ (POWER) の状態表示について詳しくは、「電源インジケータについて」(🔍 7ページ) をご覧ください。

【その他】 について

【ファームウェアアップデート】 ページ

本ボードのファームウェアをアップデートする場合に操作します。
 【その他】メニュー→【ファームウェアアップデート】をクリックします。

アップデート用のファームウェアは、次の「パナソニック 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサポートサイト」からダウンロードできます。現在のファームウェアバージョンよりも新しいものが公開されている場合に、お客様ご自身でファームウェアをアップデートできます。

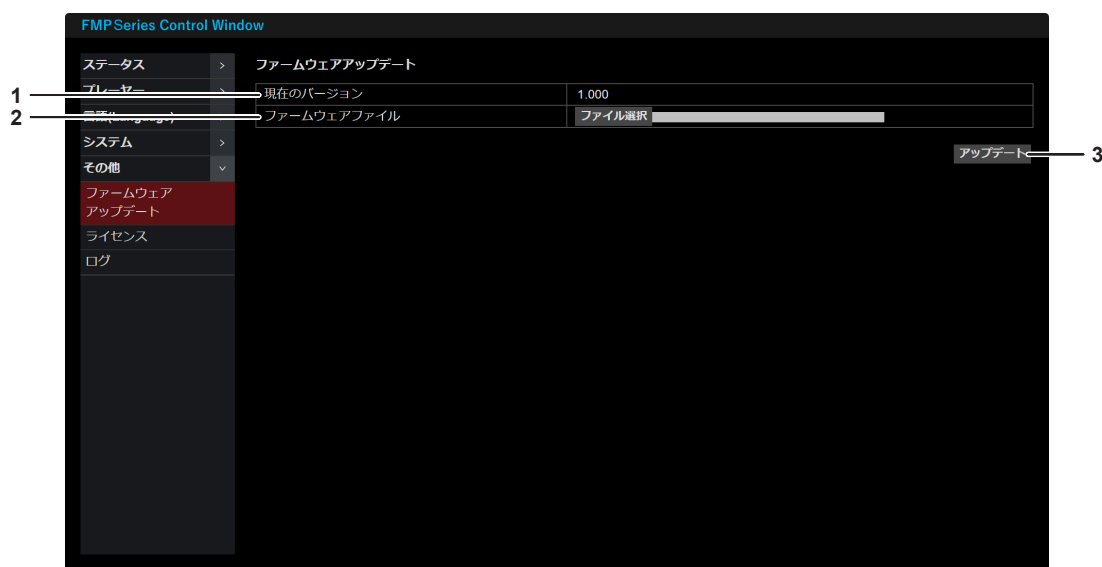
保存先を指定してファームウェアデータ（zip 形式の圧縮ファイル）をダウンロードしたのちに、解凍してください。アップデートに使用できるファームウェアデータ（rom 形式のファイル）が生成されます。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

ファイル名（例）

- SBFMP_UPDATE_1002.zip（解凍後：SBFMP_UPDATE_1002.rom）
 （バージョン 1.002 の ET-SBFMP10 用ファームウェアデータ）

なお、アップデートできるファームウェアの有無を確認したり、ファームウェアをダウンロードしたりするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。



1 【現在のバージョン】

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

2 【ファームウェアファイル】

【ファイル選択】をクリックしてアップデート用のファームウェアデータを指定すると、選択したファイル名が表示されます。


3 【アップデート】

クリックすると確認画面が表示され、【開始】を選択するとファームウェアのアップデートを開始します。アップデートが完了すると、ボードが再起動します。

お願い

- ファームウェアをアップデート中は、ボードを取り付けたプロジェクターの電源を切らないでください。

お知らせ

- ファームウェアをアップデート中は、ボードからプロジェクターに対して全黒の映像信号が出力されます。
- 再起動すると、設定に使用しているコンピューターとの接続が切れます。
- ファームウェアをアップデート中は、ボードの電源インジケータ（POWER）が緑色で点滅します。電源インジケータ（POWER）の状態表示について詳しくは、「電源インジケータについて」（ 7 ページ）をご覧ください。

【ライセンス】 ページ

本ボードで使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスをダウンロードできます。
[その他] メニュー→ [ライセンス] をクリックします。



1 【ダウンロード】

クリックすると、ライセンスのダウンロードを開始します。保存先を指定してダウンロードしてください。

お知らせ

- ライセンス内容はテキスト形式で提供され、本ボードのファームウェアに zip 形式で圧縮されて格納されています。
ファイル名：License.zip

【ログ】 ページ

本ボードにエラー / 警告が発生した場合、その内容をファイルに記録しています。ログファイルを確認することで、エラー / 警告の発生日時や内容などを確認できます。

[その他] メニュー → [ログ] をクリックします。



1 【ダウンロード】

クリックすると、ログファイルのダウンロードを開始します。
保存先を指定してダウンロードしてください。

お知らせ

- エラー / 警告の発生ログは英語テキストファイルで記録されており、ファイルは zip 形式で圧縮されています。
ファイル名 : Log.zip (解凍後 : FMP.log)
- ログファイルの内容例
2024/01/23 12:34:56.789 [WARNING] Main temp. warning (U200)
2024/01/23 12:34:56.789 : エラー / 警告の発生日時
[ERROR]/[WARNING] : エラー / 警告の分類
Uxxx : エラー / 警告番号

再生機能を使用する

スケジュール再生を行う

本ボード上のストレージに保存したコンテンツを、お客様ご自身で作成したスケジュールに従って再生できます。ここで言う「スケジュール」とは、本ボードでスケジュール再生するために必要なデータ形式をまとめたものの総称を指します。具体的には、静止画や動画などのコンテンツ、複数のコンテンツを1つの素材としてまとめたプレイリスト、1日の中で再生する内容を定義したタイムテーブル、および日付別に使用するタイムテーブルを定義したカレンダーが含まれます。

コンテンツの登録やスケジュールの作成には、アプリケーションソフトのプラットフォームである「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能を使用します。「Visual Software Suite」の詳細やダウンロードについては、次のWebサイトをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

なお、詳細を確認したり、ダウンロードしたりするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

■ 基本的な操作の流れ

1) スケジュールを作成する

- 「Visual Software Suite」を用いてスケジュールを作成します。

2) スケジュールを出力する

- 作成したスケジュールをボードに出力します。

3) ボードの設定を確認する

- [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [プレーヤー] を [Schedule] に設定します。
- ボードの日時に従って、作成したスケジュールに沿ってコンテンツが再生されます。

ストリーミング再生を行う

同一ネットワーク上にあるストリーム送信機器から配信される映像コンテンツデータを本ボードに取り込みながら再生できます。

■ 基本的な操作の流れ

1) ボードの設定を確認する

- [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [プレーヤー] を [NDI(NDI Decoder)] に設定します。

2) 再生する

- [プレーヤー] メニュー → [ストリーム一覧] ページで、ストリームの選択と、再生の設定操作を行ってください。

同期再生を行う

同一ネットワークに本ボードを複数接続している場合、コンテンツの同期再生を行うことができます。

同期再生は、プライマリー設定のボードからセカンダリー設定のボードに対してネットワーク経由で開始時刻を指定することで実現されます。これにより、ボード間の再生タイミングのずれを 1 フレーム以内に収めることができます。

機器接続の構成については、「運用イメージ」(☞ 20 ページ) を参照してください。

■ 設定のポイント

- セカンダリーとして設定するボードの各種設定を終えたのちに、プライマリーに設定するボードの各種設定を行ってください。
- 同期再生を行うボード数を確認し、各ボードの [デバイス数] を設定してください。[デバイス数] は [プレーヤー] メニュー → [設定] ページで設定します。(☞ 26 ページ)
- 各ボードの [プライマリー / セカンダリー] を設定してください。(☞ 26 ページ、33 ページ)
[プライマリー / セカンダリー] の設定項目は、次のメニュー間で共通です。
 - [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [プライマリー / セカンダリー]
 - [システム] メニュー → [日付と時刻] ページ → [プライマリー / セカンダリー]
- 同期再生を行う場合、[同期プロトコル] を時刻同期精度の高い [SoftwareSync] に設定することをお勧めします。PTP (Precision Time Protocol) 方式による同期を行えないネットワーク環境や使用環境の場合は、[同期プロトコル] を [NTP] に設定してください。[同期プロトコル] は [システム] メニュー → [日付と時刻] ページで設定します。(☞ 33 ページ)
- 同期させるボードのドメイン番号は共通にしてください。ドメイン番号は [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [ドメイン番号] で設定します。(☞ 26 ページ)
- [同期プロトコル] を [SoftwareSync] に設定して同期再生を行う場合、同一ドメイン番号に設定しているボード内でプライマリーに設定するボードは 1 つのみとしてください。それ以外のボードはセカンダリーに設定してください。
- [同期プロトコル] を [NTP] に設定して同期再生を行う場合、同一ネットワークに接続しているボード内でプライマリーに設定するボードは 1 つのみとしてください。それ以外のボードはセカンダリーに設定してください。
- 同期再生を行うためには、同期再生の対象となるボード数と [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [デバイス数] で設定したボード数が一致している必要があります。実際のネットワーク上で稼働しているボード数と [デバイス数] の数が異なる場合、コンテンツの再生を開始できません。再生を開始できない場合は、[デバイス数] の設定と、ボードを取り付けている各プロジェクターの電源状態、およびネットワーク接続状態を確認してください。

お知らせ

- 同期再生中は、セカンダリーに設定したボードの各種設定を変更しないでください。設定を変更すると、同期再生が終了して映像の出力が停止することがあります。
- 同期再生中に、セカンダリーに設定したボードの [設定] ページおよび [日付] ページのいずれかの項目の設定を変更すると、該当のボードの同期再生が終了し、映像の出力が停止します。映像の出力が停止したボードを含めて同期再生を再度行う場合は、プライマリーに設定したボードで、[設定] ページまたは [日付] ページの [設定] をクリックしてください。
- ボードを取り付けているプロジェクターの主電源が入っていない場合またはスタンバイ状態の場合、再生機能を使用することができません。再生機能は、プロジェクターが投写状態の場合に使用できます。
- 本ボードは、メディアプロセッサ (品番: ET-FMP50、ET-FMP20) と同期再生することもできます。

その他

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターのスロットに正しく取り付けられていますか。 プロジェクターは投写状態ですか。 プロジェクターの入力は正しく選択されていますか。 ボードの電源インジケータ（POWER）は緑色に点灯していますか。 	— — — 7
	<ul style="list-style-type: none"> 次の項目は正しく設定されていますか。 <ul style="list-style-type: none"> — [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [プレーヤー] — [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [出力モード] 同期再生を行う場合、次の項目で設定した数と、実際にネットワークに接続して稼働中のボード数が一致していますか。 <ul style="list-style-type: none"> — [プレーヤー] メニュー → [設定] ページの [デバイス数] 	26 26
	<ul style="list-style-type: none"> 実際に音声を出力する機器との接続は正しく行われていますか。 次の項目で音量が適切に設定されていますか。[消音] にチェックが入っていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> — [プレーヤー] メニュー → [オーディオ制御] ページの [音量 (AUDIO OUT)] 	8 27
スケジュール再生が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> 次の項目は正しく設定されていますか。 <ul style="list-style-type: none"> — [プレーヤー] メニュー → [設定] ページ → [プレーヤー] 次の項目で日時を正しく設定していますか。 <ul style="list-style-type: none"> — [システム] メニュー → [日付と時刻] ページ 	26 33
	<ul style="list-style-type: none"> ボードから出力されている映像信号の周波数が再生コンテンツの周波数と異なる場合、動画のスムーズさが損なわれることがあります。 	—
映像表示と音声のタイミングが合っていない	<ul style="list-style-type: none"> ボードから出力されている映像信号の周波数が再生コンテンツの周波数と異なる場合、映像表示と音声のタイミングが合わないことがあります。 次の項目は適切に設定されていますか。 <ul style="list-style-type: none"> — [プレーヤー] メニュー → [オーディオ制御] ページ → [音声遅延時間] 	— 27
再生機能を使用中にフレームスキップが発生する	<ul style="list-style-type: none"> 「Visual Software Suite」を起動しているコンピューターをネットワーク接続していませんか。このソフトウェアを起動したままにしていると再生機能の動作に影響を及ぼすことがあります。スケジュール再生やストリーミング再生を行う場合は、「Visual Software Suite」を終了してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> NDI に対応したストリーミングコンテンツを再生中に、ネットワーク遅延が発生していたり、ボードの処理能力を超える負荷がかかっていたりする場合、フレームスキップが行われます。 	—

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

自己診断表示について

本ボードにエラーや警告が発生した場合、Web 制御画面の [ステータス] メニュー→ [ステータス] ページの [エラー / 警告] の項目にその内容が表示されます。(☞ 25 ページ)

エラーや警告が発生した場合に表示される記号とその内容は、次の表のとおりです。“対応番号” をご確認のうえ、“エラーや警告への対応” (☞ 44 ページ) の対応に従ってください。

エラー / 警告番号	エラー / 警告記号内容	対応番号
U200	CPU 温度警告	1
F161	ストレージデバイス通信エラー	2
F203	ファン回転数警告	3
F303	ファン回転数エラー	3
H001	内部時計用電池の交換	4

お知らせ

- 表示されたエラー / 警告記号と実際の故障内容が異なる場合があります。
- 表に記載されていないエラー / 警告が表示された場合は、販売店にご相談ください。

エラーや警告への対応

本ボードにエラー / 警告が発生した場合、その内容をファイルに記録しています。ログファイルを確認することで、エラー / 警告の発生日時や内容などを確認できます。

対応番号	対応
1	本ボードを取り付けているプロジェクターの使用環境温度が高すぎるか、プロジェクターの吸気口または排気口がふさがれている可能性があります。適切な使用環境温度下 ^{*1} でご使用ください。または、吸気口や排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 処置をしてもエラー / 警告の表示が消えない場合は、販売店に修理をご依頼ください。
2	ボード上のストレージとの通信にエラーが発生しました。次のいずれかの方法でボードの再起動を行ってください。再起動しても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none"> • Web 制御画面の [システム] メニュー→ [再起動] ページで、ボードを再起動する。 • プロジェクターの電源を切ったうえで主電源スイッチを切り、プロジェクターの電源を入れ直す。
3	プロジェクターの主電源を入れ直しても表示が消えない場合は販売店にご相談ください。
4	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。

*1 プロジェクターの使用環境温度については、ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」をご覧ください。

仕様

対応スロット	Intel® Smart Display Module 仕様 (Intel® SDM 仕様)		
外形寸法	横幅	195 mm	
	高さ	25 mm	
	奥行	123.2 mm	
質量	260 g		
ストレージ	512 GB このうち約 30 GB はシステム領域として使用します。(ユーザー使用不可)		
接続端子	〈AUDIO OUT〉 端子	M3 ステレオミニジャック x 1 0 V[rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下	
	〈LAN〉 端子	RJ-45 x 1 ネットワーク接続用 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T	
映像出力信号	3 840 x 2 160/60p、3 840 x 2 160/50p、 1 920 x 1 080/60p、1 920 x 1 080/50p カラーフォーマット : RGB 色深度 : 8 bit		
スケジュール再生対応コンテンツ	「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能で作成したスケジュールデータ*1		
ストリーミング 再生対応 コンテンツ	NDI	画像圧縮方式	High Bandwidth NDI
		画像解像度 / フレームレート	1 920 × 1 080 / 60 fps、 1 920 × 1 080 / 50 fps
		音声信号	リニア PCM、サンプリング周波数 : 44.1 kHz / 48 kHz、16 ビット、2 チャンネル

*1 本ボードでスケジュール再生するために必要なデータ形式をまとめたものの総称を指します。具体的には、静止画や動画などのコンテンツ、複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたプレイリスト、1 日の中で再生する内容を定義したタイムテーブル、および日付別に使用するタイムテーブルを定義したカレンダーが含まれます。
スケジュール再生に使用されるコンテンツの解像度が、本ボードから出力する映像信号の解像度と異なる場合は、解像度を変換して出力されます。スケジュール再生に使用されるコンテンツの音声コーデックは MPEG4 AAC-LC ですが、リニア PCM に変換してボードの〈AUDIO OUT〉端子から出力されます。
スケジュール再生に対応する静止画 / 動画コンテンツの詳細については、「Visual Software Suite」の取扱説明書をご覧ください。「Visual Software Suite」の取扱説明書は、次の Web サイトからダウンロードできます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>
なお、ダウンロードするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

さくいん

A		て	
〈AUDIO OUT〉 端子	7	電源インジケータ 〈POWER〉	7
L		と	
LAN ケーブル	8, 19, 21	同期再生	42
〈LAN〉 端子	7	投写する映像を選択	11
R		に	
〈RESET〉 ボタン	7	入力信号を切り換え	11
U		ね	
〈USB〉 端子	7	[ネットワーク] ページ	31
W		は	
Web 制御機能	18, 19	廃棄	6
Web ブラウザー	19, 21, 23	ひ	
あ		[日付と時刻] ページ	33
アカウント	21, 23	ふ	
[アカウント] ページ	32	[ファームウェアアップデート] ページ	38
アフターサービス	47	ファンクションボード	5, 9
安全上のご注意	3	取り付け	9
え		取り外し	10
エラーや警告への対応	44	付属品	6
お		[プレーヤー] メニュー	24
[オーディオ制御] ページ	27	ほ	
オンスクリーンメニュー	12	保証	47
[REMOTE2 端子モード]	16	ら	
[SLOT IN]	12	[ライセンス] ページ	39
[SLOT 設定]	13	ろ	
[イーサネットタイプ]	17	[ログ] ページ	40
[スケジュール]	14		
[スタートアップ入力選択]	14		
[ステータス]	16		
[セカンダリー入力]	13		
け			
[言語 (Language)] メニュー	24		
[言語設定 (Language)] ページ	30		
こ			
[高度な設定] ページ	29		
ご使用になる前に	5		
コンピューター	19, 21		
さ			
[再起動] ページ	36		
再生	41		
し			
自己診断表示	44		
[システム] メニュー	24		
修理のご依頼の前に	43		
仕様	45		
[詳細] ページ	37		
情報表示機能	18		
[初期化] ページ	35		
す			
スケジュール再生	41		
[ステータス] ページ	25		
[ステータス] メニュー	24		
ストリーミング再生	41		
[ストリーム一覧] ページ	28		
せ			
接続	8		
設定	21		
[設定] ページ	26		
そ			
[その他] メニュー	24		
た			
対応アプリケーション	6		
対応プロジェクター	5		

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、パナソニック業務用プロジェクターサポートセンター（下記）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がありますのでご了承ください。

保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* 保証内容に関して、詳しくは次の Web サイトの「保証とアフターサービス」のページをご確認ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

補修用性能部品の保有期間

5年

パナソニック コネクト株式会社では、本製品の補修用性能部品の、製造打ち切り後、5年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	メディアプロセッサボード
品番	ET-SBFMP10
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル

0120-872-601

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのに時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違のないようおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

【修理をご要望されるお客様へのお願い】

当社ではお客様からお預かりする製品の取り扱いには細心の注意を払っておりますが、本製品のストレージに保存されているデータにつきましては、当社は一切の責任を負うことができません。修理に出す前に、アプリケーションソフトを用いて設定・登録したデータがお客様のコンピューターにオリジナルデータとして残されていることをご確認ください。運送中や当社での修理中にデータが消失する可能性があります。このような場合、当社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承ください。ようお願い申し上げます。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号